

総合保健体育科学センター年報

第31号

2008

名古屋大学総合保健体育科学センター

目 次

保健管理業務

1. 平成20年度の保健管理活動について	1
2. 学生の健康診断	4
1) 定期健康診断	5
a. 実施状況	5
b. 精密検査	6
2) 秋期健康診断（留学生健康診断）	16
3) 特殊健康診断	16
I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生	17
II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生	21
3. 職員の健康診断	25
1) 一般定期健康診断	25
2) 特殊健康診断	29
3) 特定健康診査	30
4. 健康相談と応急処置（学生・職員）	37
5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務	41
6. 運動実施のためのメディカルチェック	43
7. 感染症検査	43
8. 平成20年度産業医名簿	44

保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行	45
2. 総合保健体育科学センター主管の行事	46

「健康・スポーツ科学」の授業

1. ねらいと授業科目	47
2. 授業形態	47
3. 「講義」について	48
4. 「実習」について	48
5. 「実習」の非常勤講師	49

そ の 他

庶務関係事項	53
1) 人事異動	53
平成20年度 各種委員会委員名簿 (学内)	54
平成20年度 各種委員会委員名簿 (センター内)	56
2) 外国出張及び海外研修旅行	57
あ と が き	58

保 健 管 理 業 務

1. 平成20年度の保健管理活動について

主な保健管理活動は、従来から行われている保健管理業務と保健教育である。

保健管理業務には、各種の健康診断、心身の健康相談、その他の業務がある。学生の健康診断については、健診項目、実施方法などは従来と同様で、特に変更はなかった。健診のデータ管理にはコンピュータを使用し、OCRによりデータ入力をしている。OCRの読み込みに多大な労力を要するので、近年は外部委託で処理しているが、経費の削減により困難な状況にある。そこで、学生の健康診断データをデジタル処理化し、人的労力の軽減を図る方向で検討している。1年生の定期健康診断は、学部ガイダンスのスケジュールにあわせ、入学2週間後（各講義ガイダンスが終了した後）、授業時間を割いて行うようになり、受診率が以前に比べ若干低下している。今後一層、健康診断の日程や必要性を学生のみならず、割かれる授業担当教員にも周知徹底したい。

その他、学生に対する特殊健康診断に、有害物質、RI取り扱い学生健康診断、留学生の健康診断（秋入学）、クラブ、サークルの健康診断、医学部学生のB型肝炎ワクチン接種などがあげられる。

保健管理業務の中で健診に並んで重要なものは健康相談および応急処置業務である。身体健康分野は従来どおり5名の内科医師が診療を担当している。メンタルヘルス分野は、学生相談総合センターの精神科医2名とあわせて3名が担当している。応急処置業務については、日常業務のほか、ホームカミングデイ、センター試験、入学試験などの救護班担当も保健管理室の業務である。また、昨年度より学内における運用定員のあり方に関して、種々議論がなされ、保健管理活動を担っている内科医師5名のうち2名、精神科医師3名のうち2名（学生相談総合センター）が、各々運用定員のため、削減される危機に直面している。万一、削減に至れば、これまでの業務の維持は困難極まりない状況になると予想される。

保健管理活動のもう一つの柱である保健教育は、全学教育の一環として、「健康・スポーツ科学」を担当し、身体・精神健康について主に講義を行っている。スポーツ科学については体育科学部の教員が担当している。

教職員の健康管理については、従来通り、安衛法の下での健康管理が行われている。これらは人事労務課福祉掛が立案し、事務的な部分は人事労務課および各部局の担当者が行い、健診業務の多くを外部委託しているが、実施場所は保健管理室である。また、産業医活動も東山キャンパスについて6名が産業医として参加し、巡視を行っている。月1回の東山地区安全衛生委員会に保健管理室長が出席している。なお、本年度から各健保組合に対して特定健康診査および該当者に特定保健指導が義務化された。本学では、非常勤保健師（週30時間）1名の任用が認められ、本年度より保健指導の試行が行われるようになり、人事労務課との連携のもと、効率よいた確な健康管理を行っていくべく努力したい。学内構成員のご理解とご協力を求めたい。

押 田 芳 治

保健管理室年間行事表（定期に行われるものに限る）

	行 事	内 容	対 象 者 等
4月	学生定期健康診断 医学生感染症の検査	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 会話域聴力、栄養状態、視診、問診、個人調査、 聴打診（1年生のみ） ワクチン接種	学部生、大学院生、研究生、 留学生センターの4月入学留学生 （附属高校生は胸部X線検査のみ：5月） 医学部医学科1年生
5月	学生定期健康診断の 再検査・精密検査 学生特殊健康診断 学生放射線取り扱い者の調査	尿、胸部X線、心臓、血圧、栄養、貧血、肝臓、甲状腺 等の検査 皮膚検査、眼の検査、血液検査 書類調査後、健康診断要・不要判定	定期健康診断の要再検査の学生、 要精密検査者および前年度要観察以上の学生 R I 従事する学生（6月～7月新規従事者） R I 従事する学生（継続従事者）
6月	医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員一般（定期・特定）健康診断	第1回ワクチン接種 胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 会話域聴力、問診 心電図検査、血液検査、腹囲測定 聴力検査(1000・4000Hz)	医学部医学科4年生 全職員 内35歳と40歳以上の職員 内35歳と40歳と45歳以上の職員
7月	職員一般（定期・特定）健康診断 学生特殊健康診断 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員特殊健康診断	6月一般健康診断に準ずる 皮膚検査、眼の検査、血液検査 第2回ワクチン接種 血液検査、皮膚検査、眼の検査 血液検査、皮膚検査、眼の検査、口腔検査、血圧検査、 尿検査、胸部X線検査	全職員 R I 従事する学生（8月～10月新規従事者）、 R I 従事者の内、受診の指示があった学生 医学部医学科4年生 R I 従事者の内、受診の指示があった職員 有害業務に従事する職員
8月	職員一般健康診断の精密検査	胸部X線検査	一般健康診断で検査対象となる職員、 前年度要観察以上の職員
9月	職員健康診断の再検査 職員特定保健指導	血圧検査、血液検査、尿検査 保健指導	健康診断の要再検査の職員 特定健康診断対象となる職員
10月	学生特殊健康診断 ホームカミングディの救護 学生定期健康診断の検査 学生定期健康診断の精密検査	皮膚検査、眼の検査、血液検査 書類調査後の各検査（血液、尿、皮膚、眼、視診等） 必要に応じた応急処置 胸部X線検査 胸部X線検査	R I 従事する学生（11月～12月新規従事者） 有害物質等に従事する学生 学生、職員および一般来客者 定期健康診断（4月）未受検の学部1年生 定期健康診断（4月）の要観察D 2以上の学生
11月	留学生健康診断 留学生健康診断の再検査	学生定期健康診断と同じ 胸部X線検査（精密検査）、尿検査	留学生センターの10月入学留学生、 5月以降来日した留学生 留学生健康診断の要再検査の学生
12月	学生特殊健康診断 職員一般（定期・特定）健康診断 職員特殊健康診断	皮膚検査、眼の検査、血液検査 職員一般（定期・特定）健康診断と同じ 職員特殊健康診断と同じ	R I 従事する学生（1月～6月新規従事者） 特定業務に従事する職員、7月未受診の職員 R I 従事者の内、受診の指示があった職員、 有害業務に従事する職員
1月	センター試験救護 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員一般健康診断の精密検査 職員一般健康診断の再検査	必要に応じた応急処置 第3回ワクチン接種 胸部X線検査 血圧検査、血液検査、尿検査	センター試験受験者 医学部医学科4年生 一般健康診断で検査対象となる職員、 要観察以上の職員 健康診断の要再検査の職員
2月	大学入学試験救護 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員V D T健康診断 職員健康診断	必要に応じた応急処置 接種後血液検査 眼の検査（近点検査等）上肢、頸部等の機能検査 便潜血反応	大学入学試験受験者 医学部医学科4年生 V D T 従事する職員 40歳以上の職員
3月	学生定期健康診断 学生定期健康診断の精密検査 大学入学試験救護	4月の定期に準ずる 4月の定期、5月の精密検査に準ずる 必要に応じた応急処置	医学部学生（次年度対象者） 定期健康診断の要観察以上の学生 （次年度対象者） 大学入学試験受験者
年次	職員の採用時健康診断および 海外派遣労働者健康診断 職員の長時間労働者への面接 職員の復職者相談 職員健康診断後の相談 生活指導 スポーツのためのメディカルチェック	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 腹囲測定、聴力検査（1000・4000Hz）、心電図検査、 血液検査、診察 診察、問診及び指導 診察 診察 経過観察（必要に応じた診察・検査） 心電図検査と必要に応じた健康診断	採用予定者 6ヶ月以上の海外出張の職員 職員 職員 健康診断結果で相談したい職員 定期健康診断で要観察以上の学生 希望部、クラブ加入学生

(注) 健康相談、応急処置、精神相談は年中実施

健康管理対象者数の年次推移

年度	学 生 数 (女子：内数)			健康診断 受検者数		健康診断 受診率	一般健康相談者数 (学生)		精神衛生相談者数 (学生・職員合計)	
S 50	8,539		100.0%	5,707	100.0%	66.8%	1,298	100.0%	271	100.0%
S 55	8,876	(1,131)	103.9%	6,748	118.2%	76.0%	2,325	179.1%	162	59.8%
S 60	9,637	(1,711)	112.9%	7,038	123.3%	73.0%	3,338	257.2%	204	75.3%
H 1	11,411	(2,311)	133.6%	8,128	142.4%	71.2%	3,054	235.3%	242	89.3%
H 2	11,789	(2,431)	138.1%	8,718	152.8%	74.0%	2,441	188.1%	221	81.5%
H 3	12,183	(2,581)	142.7%	9,270	162.4%	76.1%	2,422	186.6%	313	115.5%
H 4	12,691	(2,761)	148.6%	9,842	172.5%	77.6%	3,128	241.0%	415	153.1%
H 5	13,302	(3,101)	155.8%	10,648	186.6%	80.0%	2,763	212.9%	406	149.8%
H 6	13,712	(3,273)	160.6%	11,459	200.8%	83.6%	2,595	199.9%	425	156.8%
H 7	14,388	(2,909)	168.5%	12,063	211.4%	83.8%	2,473	190.5%	434	160.1%
H 8	14,752	(3,043)	172.8%	12,140	212.7%	82.3%	2,890	222.7%	483	178.2%
H 9	14,996	(3,135)	175.6%	11,570	202.7%	77.2%	2,875	221.5%	579	213.7%
H10	15,157	(3,413)	177.5%	11,216	196.5%	74.0%	2,753	212.1%	718	264.9%
H11	15,414	(3,775)	180.5%	10,937	191.6%	71.0%	2,477	190.8%	860	317.3%
H12	15,554	(4,135)	182.2%	11,214	196.5%	72.1%	2,654	204.5%	945	348.7%
H13	15,760	(4,394)	184.6%	11,591	203.1%	73.5%	2,500	192.6%	1,462	539.5%
H14	15,741	(4,578)	184.3%	11,195	196.2%	71.1%	2,686	206.9%	1,820	671.6%
H15	15,784	(4,679)	184.8%	11,287	197.8%	71.5%	2,687	207.0%	1,900	701.1%
H16	15,811	(4,681)	185.2%	11,598	203.2%	73.4%	2,033	156.6%	1,942	716.6%
H17	15,844	(4,663)	185.5%	11,159	195.5%	70.4%	2,147	165.4%	2,170	800.7%
H18	15,894	(4,718)	186.1%	11,295	197.9%	71.1%	1,873	144.3%	2,450	904.1%
H19	15,794	(4,742)	185.0%	11,368	199.2%	72.0%	1,589	122.4%	2,379	877.9%
H20	15,682	(4,718)	183.7%	11,594	203.2%	73.9%	1,457	112.2%	2,251	830.6%

学生数：5月1日現在（研究生含まず）

2. 学生の健康診断

平成20年度 学生の健康診断実施表

定期健康診断				
	検査項目	検査内容	受診対象者	実施時期
一 次 健 診	1 視力検査・会話域聴力	— 視力計, 問診	学部学生 大学院学生 研究生等 # (新生入・医学生・希望者) ※ (学生1年生のみ)	医学部5～6年生, M2, D2～D4 保健学科2～4年生, M2, D2, D3 3月3日(月) 4日(火) 2年生以上学部生, 大学院生, 研究生 4月10日(木) ～22日(火), 28日(月)
	2 尿検査(蛋白・潜血・糖)			
	3 胸部X線検査	# — 間接撮影		
	4 身体計測(身長・体重)			
	5 血圧検査	— 血圧測定		
	6 栄養(肥満・るい瘦)	— BMI法		
	7 貧血・肝臓・甲状腺検査	— 視診・触診		
	8 健康(自覚症状)個人調査	— 調査書		
	9 心音検査	※ — 聴診		
再 ・ 精 密 検 査	1 尿検査(蛋白・潜血・糖)	* — 血液・尿検査	一次健診で要精検となった者 要精検となった者 * (前年度健康診断の結果 指導区分D-2以上の者 も加える)	4月30日(水) ～5月30日(金) b 第2回目 10月下旬
	2 胸部X線検査	* — 直接撮影 b		
	3 血圧検査	— 血液・心電図		
	4 栄養(肥満・るい瘦)	* — 血液・体脂肪		
	5 貧血・肝臓・甲状腺検査	* — 血液		
	6 心音検査	* — 心電図		
	7 健康個人調査	— 面接		
留学生秋期健康診断				
項目	1 定期健康診断と同じ		留学生センターの10月入学留学生 5月以降来日した留学生	11月4日(火)
1年生の秋期健康診断				
項目	1 胸部X線検査	— 間接撮影	4月健診未受診の学部新1年生	10月22日(水)
特殊健康診断				
検 査 項 目	1 血液の検査	— 血算	放射性同位元素等を取り扱う実験・ 実習に従事する者	1. 5/8～5/13 2. 7/1～7/2 3. 10/16～10/17 4. 12/15～12/16
	2 皮膚の検査	— 皮膚科医の診察		
	3 眼の検査	— 眼科医の診察(白内障)		
	4 問診	— 健康診断に関する調査書		
項 目	1 有害物質取扱調査	— 取扱に関する調査書	有害物質等を取り扱う実験・実習 に従事する者	10/16～10/17
	2 検査(希望者)	— 診察(眼・皮膚・内科)・ 血液・尿		

本年度より特別健康診断(RI検査)日程1回目に関しては4日間(受診者数増加の為2日間の学部指定)します

1) 定期健康診断

a. 実施状況 (表1・表2)

定期健康診断の実施項目は、昨年度と同様、感染症と生活習慣病に重点を置いたもので、肺結核だけでなく、心、腎、肝疾患、高血圧、内分泌代謝疾患（糖尿病、肥満、るい瘦、甲状腺腫）および貧血と多岐にわたっている。健診の実施場所は従来と同様、保健管理室である。一次健診とその精密検査が4、5月に行われた。受診者全員が健診終了時に医師から直接説明を受け、後にその結果表を受け取るシステムになっている。なお、一次健診により再検査を実施した結果は各項目を参照されたい。

外国人留学生の受入に伴う健康診断は、4月、10月の2回実施し、一般学生と同様の健診を実施した。

平成20年度 定期健康診断 受診結果

学部・研究科	対象者数（5.1在籍者）			受診者数			受診率 %	対象外者数	
	学部	研究科	計	学部	研究科	計		研究生	受診数
学部 1年生	2,236		2,236	2,193		2,193	98.1		
学部 2年生	2,283		2,283	1,308		1,308	57.3		
文学部・文学研究科	335	312	647	274	162	436	67.4	71	20
教育学部・ 教育発達科学研究科	177	250	427	142	132	274	64.2	80	27
法学部・法学研究科	383	146	529	261	89	350	66.2	117	32
経済学部・ 経済学研究科	494	138	632	362	84	446	70.6	22	7
情報文化学部	214		214	150		150	70.1	5	0
理学部・理学研究科	617	541	1,158	440	465	905	78.2	25	6
医学部・医学 医学系研究科	410	723	1,133	222	222	444	39.2	116	4
保健学	470	206	676	439	83	522	77.2	0	0
工学部・工学研究科	1,684	1,543	3,227	1,405	1,352	2,757	85.4	76	24
農学部・ 生命農学研究科	398	386	784	309	329	638	81.4	20	9
国際開発研究科		292	292		158	158	54.1	18	9
人間情報学研究科		5	5		0	0	0.0	0	0
多元数理科学研究科		145	145		112	112	77.2	4	1
国際言語文化研究科		224	224		153	153	68.3	40	32
環境学研究科		465	465		347	347	74.6	14	5
情報科学研究科		369	369		293	293	79.4	6	2
法科大学院・ 専門職学位課程		236	236		108	108	45.8	0	0
留学生センター								50	46
その他								10	2
合計	9,701	5,981	15,682	7,505	4,089	11,594	73.9	674	226
附属学校胸部対象者			120			118			

b. 精密検査

胸部X線検査は、第1回（春期）では間接撮影（一次検査）を実施し、異常を疑われた学生および前年度からの要観察者（D2以上）を対象に直接撮影を実施している。

第2回（秋期）では春期の検査にて要観察（年2回受診）と判定した学生に対しては直接撮影を実施し、要医療（医療機関に通院中）の学生については診察を行った。

尿検査は、複合試験紙（ウロペーパー）を用い、蛋白・潜血・糖の項目を検査、再検査、さらに陽性の学生に精密検査を行っている。

検査・再検査で蛋白・潜血・糖それぞれが「+」以上の学生を陽性とした。ただし、蛋白・潜血が共に「±」以上の学生も同様に陽性とした。

血圧検査は、自動血圧計を用い座位で測定し、収縮期血圧（SBP）140mmHg以上もしくは拡張期血圧（DBP）90mmHg以上（2回）を再検査対象としている。再検査（5分間安静）し、自動血圧計で測定。さらに高い学生に水銀血圧計を使用し聴診法、仰臥位でSBP160mmHg以上もしくはDBP95mmHg以上に精密検査を行った。

心臓検査は、原則として学部新1年生に心音検査を行い心雑音等が聴取された学生に対して心電図検査を行った。また従来からの要観察者（D2以上）、胸部X線検査で心精検と判定された学生に対しても同様に心電図検査を実施している。

栄養は、BMI（Body Mass Index, 体重(kg) ÷ [身長(m)]²）が30以上を肥満とし希望した学生に精密検査を実施した。（ただし学部1年生の肥満対象者は必須。）

問診、視診および触診でるい瘦および貧血・甲状腺・肝臓疾患の疑いのある学生については必要時に検査を実施した精密検査を行った。

項目	再検査		精密検査内容	
	内容	結果		
尿	蛋白	陽性	採血	アルブミン・クレアチニン
			検尿	蛋白（定量）……24h尿沈査
	潜血	陽性	検尿	沈査
	蛋白・潜血2項目	陽性	採血	アルブミン・クレアチニン
		検尿	クレアチニンクリアランス・蛋白（定量）……24h尿沈査	
	糖	陽性	採血	空腹時血糖・グリコヘモグロビンA1c
血圧	座位・自動血圧計 ↓ 仰臥位・水銀血圧計	SBP160以上 もしくは DBP95以上	心電図	
			採血	総コレステロール, HDLコレステロール, Na, K, Cl, Ca, 無機リン, クレアチニン, アルドステロン, コルチゾール, レニン

項目	精密検査内容	
肥満	計測	体脂肪率（インピーダンス法）, 腹囲測定（臍の高さ）
	採血	総コレステロール, HDLコレステロール, LDLコレステロール, 中性脂肪, GOT, GPT, γ-GTP, 尿酸, インスリン, 空腹時血糖 （ただし新規でこの検査を受診する学生はグリコヘモグロビンA1cも）
るい瘦	採血	診察にて指示
貧血	採血	赤血球, 白血球, Hb, Ht, PLT, 血液像, Fe, フェリチン
甲状腺	採血	診察にて指示
肝臓	採血	総ビリルビン, GOT, GPT, ALP, LDH, HBs抗原, HCV抗体

判定区分は以下のように生活規制，医療の両面を考慮して決定した。

判 定 区 分

1. 生活規制面からの区分

記 号

- A. (要休業) 授業を休む必要のあるもの
- B. (要軽業) 授業に制限を加える必要のあるもの
- C. (要注意) 授業をほぼ平常に行ってよいもの
- D. (健康) 全く正常の生活でよいもの

2. 医療面からの区分

記 号

- 1. (要医療) 医師による直接の医療行為を必要とするもの
- 2. (要観察) 医師による直接の医療行為を必要としないが，定期的に医師の観察指導を必要とするもの
- 3. (健康) 医師による直接，間接の医療行為を全く必要としないもの

注：学校保健安全法施行規則別表第一による。

再検査，精密検査を受けた結果，生活指導を要する者については，医師が直接指導した。

平成20年度 胸部X線 精密検査結果

学部・研究科	間接 有所見 判定数	第 1 回 (直接)							第 2 回 (直接)					
		対象 者数	判 定 区 分				未 受 検	心 精 へ	対象 者数	判 定 区 分				未 受 検
			D3	D2	D1	A1				D3	D2	D1	A1	
文 学 部	6	4	2	2					0					
文 学 研 究 科	1	3	1					2	0					
教 育 学 部	3	1	1						0					
教育発達科学研究科	1	2	1	1					0					
法 学 部	6	4	3	1					0					
法 学 研 究 科	4	2	1	1					1			1		
経 済 学 部	8	3	2		1				1			1		
経 済 学 研 究 科	1	0							0					
情 報 文 化 学 部	1	1	1					1	0					
理 学 部	9	9	3	3	2			1	2			2		
理 学 研 究 科	7	1		1				2	0					
医 学 部	6	2		2					0					
保健学科	14	4	1	2	1				2					
医学系研究科	3	2		2					0					
医学専攻	2	0							0					
保 健 学 専 攻	2	0							0					
工 学 部	23	10	4	5				1	5					
工 学 研 究 科	1	8	2	5			1		6	1		1		
農 学 部	6	0							1	1			1	
生命農学研究科	7	4		3	1				2		2			
国際開発研究科	4	2		1	1				1			1		
人間情報科学研究科	0	0							0					
多元数理科学研究科	2	1	1						0					
国際言語文化研究科	3	4	2	1				1	0					
環 境 学 研 究 科	6	4		4					0					
情 報 学 研 究 科	5	5	1	3	1				1			1		
法・専門職学位課程	2	2		1	1				1			1		
そ の 他	0	0							0					
計	82	38	17	15	4	0	2	11	4	0	0	4	0	0
学 部	49	40	9	23	4	1	3	8	7	0	3	4	0	0
研 究 科														
合 計	131	78	26	38	8	1	5	19	11	0	3	8	0	0

第2回「D1」は経過を確認した者である

平成20年度 蛋白 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査					
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1	C 1	未受検	
文 学 部	2	1	1		1					
文 学 研 究 科										
教 育 学 部	3	3								
教育発達科学研究科	2	1	1				1			
法 学 部	3	2		1						
法 学 研 究 科										
経 済 学 部	11	9	1	1	1					
経 済 学 研 究 科	1	1								
情 報 文 化 学 部	3	2	1			1				
理 学 部	4	4								
理 学 研 究 科	1	1								
医 学 部	1		1			1				
保健学科	7	7								
医学系研究科										
医学専攻										
保健学専攻										
工 学 部	31	24	4	3		3	1			
工 学 研 究 科	6	5		1						
農 学 部	7	5	1	1					1	
生 命 農 学 研 究 科	2	2								
国 際 開 発 研 究 科										
人 間 情 報 学 研 究 科										
多 元 数 理 学 研 究 科										
国 際 言 語 文 化 研 究 科	2		1	1		1				
環 境 学 研 究 科	4	2	1	1	1					
情 報 学 研 究 科	2		1	1		1				
法・専門職学位課程										
そ の 他										
計	学部	72	57	9	6	2	5	1	0	1
計	研究科	20	12	4	4	1	2	1	0	0
合 計		92	69	13	10	3	7	2	0	1

平成20年度 潜血 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査					
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1		未受検	
文 学 部	5	1	4		2	1			1	
文 学 研 究 科	5		5		1	3			1	
教 育 学 部	5	3	1	1					1	
教育発達科学研究科	2	1	1				1			
法 学 部	2	1	1				1			
法 学 研 究 科	4	1	3			1			2	
経 済 学 部	14	8	4	2		4				
経 済 学 研 究 科	1		1			1				
情 報 文 化 学 部	6		5	1	1	2	1		1	
理 学 部	4	2	2			2				
理 学 研 究 科	8	2	6		2	4				
医 学 部	2	1	1			1				
保健学科	14	8	6			4	2			
医学系研究科										
医学専攻	5		4	1	3	1				
保健学専攻	2		1	1			1			
工 学 部	29	14	13	2	2	9	2			
工 学 研 究 科	17	8	7	2	1	6				
農 学 部	5	3	1	1	1					
生 命 農 学 研 究 科	6	3	3			2			1	
国 際 開 発 研 究 科	4	1	3		2	1				
人 間 情 報 学 研 究 科										
多 元 数 理 学 研 究 科										
国 際 言 語 文 化 研 究 科	8	2	6		3	2			1	
環 境 学 研 究 科	8	4	3	1	2	1				
情 報 学 研 究 科	4	2	1	1		1				
法・専門職学位課程										
そ の 他	1	1								
計	学部	86	41	38	7	6	23	6	0	3
計	研究科	75	25	44	6	14	23	2	0	5
合 計		161	66	82	13	20	46	8	0	8

平成20年度 糖 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査				
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1	C 1	未受検
文 学 部	2		1	1	1				
文 学 研 究 科									
教 育 学 部	2	2							
教育発達科学研究科									
法 学 部									
法 学 研 究 科	2	1	1				1		
経 済 学 部	2	1	1				1		
経 済 学 研 究 科	1	1							
情 報 文 化 学 部									
理 学 部	3	2	1			1			
理 学 研 究 科	3	2	1			1			
医 学 部									
医学部									
保健学科	1	1							
医学系研究科									
医学専攻				1					
保健学専攻	1								
工 学 部	6	3	2	1	1		1		
工 学 研 究 科	9	7		2					
農 学 部	1	1							
生命農学研究科	5	4		1					
国際開発研究科									
人間情報学研究科									
多元数理科学研究科									
国際言語文化研究科	1	1							
環境学研究科	3	2	1				1		
情報科学研究科	3	2		1					
法・専門職学位課程									
そ の 他									
計	学部	17	10	5	2	1	2	0	0
計	研究科	28	20	3	0	1	2	0	0
合 計		45	30	8	2	2	4	0	0

平成20年度 血圧 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査				備 考 (治療中)
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1	未受検	
文 学 部	1	1	0						
文 学 研 究 科	2	1	0				1		治療中1
教 育 学 部	1	1	0						
教育発達科学研究科	3	2	1				1		
法 学 部	2	2	0						
法 学 研 究 科	4	4	0						
経 済 学 部	1		0	1					
経 済 学 研 究 科	0		0						
情 報 文 化 学 部	0		0						
理 学 部	4	4	0						
理 学 研 究 科	6	5	0	1					
医 学 部									
医学部									
保健学科	5	4	0	1					
医学系研究科									
医学専攻	5	4	1				1		
保健学専攻	0		0						
工 学 部	19	18	1				1		
工 学 研 究 科	6	6	0						
農 学 部	0		0						
生命農学研究科	2	1	0	1					
国際開発研究科	0		0						
人間情報学研究科	0		0						
多元数理科学研究科	2	2	0						
国際言語文化研究科	3	3	0						
環境学研究科	1		0	1					
情報科学研究科	2	2	0						
法・専門職学位課程	1	1	0						
そ の 他	1		0				1		治療中1
計	学部	34	31	1	2	0	1	0	
計	研究科	38	31	2	3	0	4	0	
合 計		72	62	3	5	0	5	0	

平成20年度 心臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分				未受検	備考
		D3	D2	D1			
文学部	3	2				1	
文学研究科	2	2					
教育学部	1		1				
教育発達科学研究科							
法学部	1	1					
法学研究科							
経済学部	2	1		1			
経済学研究科							
情報文化学部	2	1				1	
理学部	5	3		1		1	
理学研究科	3	1				2	
医学部	医学科	1	1				
	保健学科	2	2				
医学系研究科	医学専攻						
	保健学専攻						
工学部	15	8	7				
工学研究科	8	8					
農学部	2	2					
生命農学研究科	1		1				
国際開発研究科	2	1	1				
人間情報学研究科							
多元数理科学研究科	1		1				
国際言語文化研究科							
環境学研究科							
情報科学研究科							
法・専門職学位課程							
その他							
計	学部	34	21	8	2	3	
	研究科	17	12	3	0	2	
合計		51	33	11	2	5	

平成20年度 肥満 (BMI 30以上) 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分				未受検	備考
		D3	D2	D1			
文学部	1		1				
文学研究科	1		1				
教育学部	1					1	
教育発達科学研究科	3		3				
法学部	4		3			1	
法学研究科	0						
経済学部	6	1	1			4	
経済学研究科	2	1	1				
情報文化学部	1		1				
理学部	11	1	10				
理学研究科	5		4			1	
医学部	医学科	1	1				
	保健学科	2	2				
医学系研究科	医学専攻	2	1			1	
	保健学専攻	1	1				
工学部	21	4	13	1		3	
工学研究科	12	2	9			1	
農学部	3	1	1			1	
生命農学研究科	4	1	2			1	
国際開発研究科	1		1				
人間情報学研究科	0						
多元数理科学研究科	1					1	
国際言語文化研究科	3		2			1	
環境学研究科	7		6			1	
情報科学研究科	2					2	
法・専門職学位課程	2	1	1				
その他	0						
計	学部	51	7	33	1	10	
	研究科	46	5	32	0	9	
合計		97	12	65	1	19	

平成20年度 るい瘦 (BMI 15以下) 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			備考
		D3	D2	D1	
文学部	0				
文学研究科	0				
教育学部	0				
教育発達科学研究科	0				
法学部	0				
法学研究科	0				
経済学部	0				
経済学研究科	0				
情報文化学部	0				
理学部	0				
理学研究科	0				
医学部	医学科	0			
	保健学科	0			
医学系研究科	医学専攻	0			
	保健学専攻	0			
工学部	1	1			
工学研究科	0				
農学部	0				
生命農学研究科	0				
国際開発研究科	0				
人間情報学研究科	0				
多元数理科学研究科	0				
国際言語文化研究科	0				
環境学研究科	0				
情報科学研究科	0				
法・専門職学位課程	1	1			
その他	0				
計	学部	1	1	0	0
	研究科	1	1	0	0
合計	2	2	0	0	

平成20年度 貧血 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			備考
		D3	D2	D1	
文学部	1		1		
文学研究科	1	1			
教育学部	1		1		
教育発達科学研究科	0				
法学部	2	1	1		
法学研究科	0				
経済学部	1		1		
経済学研究科	0				
情報文化学部	0				
理学部	1	1			
理学研究科	1	1			
医学部	医学科	0			
	保健学科	0			
医学系研究科	医学専攻	0			
	保健学専攻	1	1		
工学部	1	1			
工学研究科	2	2			
農学部	2	2			
生命農学研究科	1	1			
国際開発研究科	1	1			
人間情報学研究科	0				
多元数理科学研究科	0				
国際言語文化研究科	0				
環境学研究科	1	1			
情報科学研究科	1		1		
法・専門職学位課程	0				
その他	0				
計	学部	9	5	4	0
	研究科	9	8	1	0
合計	18	13	5	0	

平成20年度 甲状腺 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			備考
		D3	D2	D1	
文学部	0				
文学研究科	0				
教育学部	0				
教育発達科学研究科	0				
法学部	0				
法学研究科	0				
経済学部	0				
経済学研究科	0				
情報文化学部	0				
理学部	0				
理学研究科	1	1			
医学部	0				
医学部	0				
医学部	0				
医学部	0				
工学部	0				
工学研究科	0				
農学部	0				
生命農学研究科	0				
国際開発研究科	0				
人間情報学研究科	0				
多元数理科学研究科	0				
国際言語文化研究科	0				
環境学研究科	0				
情報科学研究科	0				
法・専門職学位課程	0				
その他	0				
計	0	0	0	0	
計	1	1	0	0	
合計	1	1	0	0	

平成20年度 肝臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			備考
		D3	D2	D1	
文学部	0				
文学研究科	0				
教育学部	0				
教育発達科学研究科	0				
法学部	0				
法学研究科	0				
経済学部	0				
経済学研究科	0				
情報文化学部	0				
理学部	0				
理学研究科	0				
医学部	1	1			
医学部	0				
医学部	0				
医学部	0				
工学部	0				
工学研究科	0				
農学部	0				
生命農学研究科	0				
国際開発研究科	0				
人間情報学研究科	0				
多元数理科学研究科	0				
国際言語文化研究科	0				
環境学研究科	0				
情報科学研究科	0				
法・専門職学位課程	0				
その他	0				
計	1	1	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	1	1	0	0	

01 01 定期健康診断 内科系(学生) 受診カード (名古屋大学)

検査日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	この太枠内を 記入して下さい	生年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>
連絡先(研究室) TEL _____ (自宅) TEL () - _____								学部 _____ 学科 _____ 年 _____ クラス _____ 番								
学生番号 <input type="text"/>								ふりがな 氏名 _____ () 才) 男・女								
過去および現在の病気。あれば該当項目に○を記入して下さい。																
<input type="checkbox"/> 肺結核		<input type="checkbox"/> 気胸		<input type="checkbox"/> 気管支喘息		<input type="checkbox"/> 心臓病		<input type="checkbox"/> 胃腸病		<input type="checkbox"/> 肝臓病		<input type="checkbox"/> 該当なし				
<input type="checkbox"/> 腎臓病		<input type="checkbox"/> 甲状腺疾患		<input type="checkbox"/> 糖尿病		<input type="checkbox"/> 貧血		<input type="checkbox"/> その他 ()								
身長 <input type="text"/> . <input type="text"/> cm								心音 <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要心精検)								
体重 <input type="text"/> . <input type="text"/> kg								栄養再検 体重 <input type="text"/> . <input type="text"/> kg								
栄養 <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (肥満) <input type="checkbox"/> (るいそう)								<input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要精検)								
尿 蛋白 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++				尿 再 検 蛋白 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++				尿 潜 血 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++				尿 再 検 潜 血 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++				
尿 糖 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++				尿 再 検 糖 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++												
血 圧 収縮期 <input type="text"/> 拡張期 <input type="text"/> mmHg								血圧再検 収縮期 <input type="text"/> 拡張期 <input type="text"/> mmHg								
(判定) <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要再検) 心拍数 <input type="text"/>								(判定) <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要精検) 心拍数 <input type="text"/>								
胸部X線 [間接] フィルム番号 <input type="text"/>								胸部X線 [直接] <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日								
(所見) <input type="text"/>								(所見) <input type="text"/>								
(判定) <input type="checkbox"/> (正常)								(判定) <input type="checkbox"/> (正常)								
<input type="checkbox"/> (有所見) 放置可								<input type="checkbox"/> (有所見) 放置可								
<input type="checkbox"/> (要直接)								<input type="checkbox"/> (要観察) (<input type="checkbox"/> 3か月 <input type="checkbox"/> 6か月 <input type="checkbox"/> 1年)								
<input type="checkbox"/> (要心精検)								<input type="checkbox"/> (要医療)								
								<input type="checkbox"/> (要心精検)								
聴 力 <input type="checkbox"/> (会話域正常) <input type="checkbox"/> (会話域異常)																
視力 右 [裸眼] <input type="text"/> . <input type="text"/>				[矯正] <input type="text"/> . <input type="text"/>				CL使用 <input type="checkbox"/>								
左 <input type="text"/> . <input type="text"/>				<input type="text"/> . <input type="text"/>												
他の精密検査 <input type="checkbox"/> 肝炎 <input type="checkbox"/> 甲状腺 <input type="checkbox"/> 貧血 <input type="checkbox"/> その他 ()																
判 定 <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり																
特記事項																

(注意) この用紙を折り曲げないで下さい。

記入例 01234567890

表 1

名古屋大学 定期健康診断受診カード

受診日	平成	年	月	日
学部	学科	専攻	学年	
研究室:	内線()			
学生番号				
性別	男・女	生年	月	日
氏名		年	月	日
電話				

本枠内をボールペンで力を入れて記入すること (本人用)
(3枚複写)

(注意)
受診カード(本人用)は後日、各学部の教務学生掛を通じ返却します。
各自で保管の上、診断書の発行を受ける際は提示すること。

身長	体重	kg	受付番号
再検査	再検査	再検査	問接 No.
正常・肥満・るい瘦	正常・要精検・未受検	正常・要精検・未受検	胸部
貧血・肝炎・甲状腺疾患・心音・その他()			直接
尿検査	尿再検査	尿再検査	年 月 日
正常・要再検・未受検	正常・要精検・未受検	正常・要精検・未受検	胸部異常なし異常あり 所見
蛋白質 潜血 糖	蛋白質 潜血 糖	蛋白質 潜血 糖	
血圧検査	血圧再検査	血圧再検査	線 撮 影
正常・要再検	正常・要再検	正常・要再検	胸部異常なし異常あり 心陰影異常なし異常あり 所見
脈拍 ()	脈拍 ()	脈拍 ()	視 力
正常・要再検	正常・要再検	正常・要再検	右 ()
1. 異常なし	1. 異常なし	1. 異常なし	左 ()
2. 異常あり	2. 異常あり	2. 異常あり	聴 会 話 域
3. 再検・精検を受けていないため判定ができません。	3. 再検・精検を受けていないため判定ができません。	3. 再検・精検を受けていないため判定ができません。	(正・異) 常
判定	判定	判定	特記事項
名古屋大学総合保健体育科学センター 保健管理室 TEL7899-3969	名古屋大学総合保健体育科学センター 保健管理室 TEL7899-3969	名古屋大学総合保健体育科学センター 保健管理室 TEL7899-3969	

[研 究 生 用]

印

健康個人調査

20 _____ 年度	連絡先 TEL (_____) _____																								
学生番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	_____ 学 部 _____ 学科 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 学年																								
ふりがな 氏 名 _____ (_____ 才) 男・女																									
<p>〔1〕 過去1年間の健康状況 <input type="checkbox"/> (おおむね健康であった) <input type="checkbox"/> (病気が休むほどではなかった)</p> <p>(いずれかに○を記入して下さい) <input type="checkbox"/> (病気のため休んだ) <input type="checkbox"/> (今も病気にかかっている)</p> <p>〔2〕 最近感じていること (はい・いいえ) のいずれかに○を記入して下さい</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>2. すぐかあとなったり、いらいらしますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>3. 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>4. 自分の健康のことが気になって仕方がないですか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>5. 同じ動作をくりかえしたり同じ概念がいつも頭から離れなかったりすることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>6. 自分と周囲とがぼんやりとしていてあたかもガラスで仕切られているような気がしますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>7. 自分の心の中のことが他人に知られているように感ずることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>8. 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>9. 他人がさげたり、人に監視されていると思うことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>10. なにもやる気がなくなり、ぼんやりとしていることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>11. 孤独感を強く感じたりすることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>12. 自殺したいと思うことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> </table> <p>〔3〕 現在、心身の健康について医師に相談したい事がありますか <input type="checkbox"/> (ある) <input type="checkbox"/> (ない)</p> <p>(どちらかに○を記入して下さい)</p> <p>〔4〕 自分の健康 (身体・精神) について何か問題があれば遠慮なく記入して下さい。</p> <p>(例：性格の悩み、対人関係の悩み、不安、抑うつなど)</p>		1. ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)	2. すぐかあとなったり、いらいらしますか	(はい・いいえ)	3. 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがありますか	(はい・いいえ)	4. 自分の健康のことが気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)	5. 同じ動作をくりかえしたり同じ概念がいつも頭から離れなかったりすることがありますか	(はい・いいえ)	6. 自分と周囲とがぼんやりとしていてあたかもガラスで仕切られているような気がしますか	(はい・いいえ)	7. 自分の心の中のことが他人に知られているように感ずることがありますか	(はい・いいえ)	8. 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか	(はい・いいえ)	9. 他人がさげたり、人に監視されていると思うことがありますか	(はい・いいえ)	10. なにもやる気がなくなり、ぼんやりとしていることがありますか	(はい・いいえ)	11. 孤独感を強く感じたりすることがありますか	(はい・いいえ)	12. 自殺したいと思うことがありますか	(はい・いいえ)
1. ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)																								
2. すぐかあとなったり、いらいらしますか	(はい・いいえ)																								
3. 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがありますか	(はい・いいえ)																								
4. 自分の健康のことが気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)																								
5. 同じ動作をくりかえしたり同じ概念がいつも頭から離れなかったりすることがありますか	(はい・いいえ)																								
6. 自分と周囲とがぼんやりとしていてあたかもガラスで仕切られているような気がしますか	(はい・いいえ)																								
7. 自分の心の中のことが他人に知られているように感ずることがありますか	(はい・いいえ)																								
8. 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか	(はい・いいえ)																								
9. 他人がさげたり、人に監視されていると思うことがありますか	(はい・いいえ)																								
10. なにもやる気がなくなり、ぼんやりとしていることがありますか	(はい・いいえ)																								
11. 孤独感を強く感じたりすることがありますか	(はい・いいえ)																								
12. 自殺したいと思うことがありますか	(はい・いいえ)																								

※定期健康診断以外には使用することはありません。

2) 秋期健康診断（留学生健康診断）

5月以降に来日した学生に対して、10月に健康診断を実施している。健診項目は4月の定期健康診断と同じである。

また、今年度4月の健康診断時、学部新1年生で未受診の学生が多数いたため胸部X線検査のみ実施した。（胸部X線検査は2年生以上希望）

平成20年度 秋期健康診断 受診結果

学部・研究科	秋期留学生			春期健診学部1年未受検者		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	胸部X線検査受検者数	1年合計受診率
文学部・文学研究科	24	22	91.7%	0		100.0%
教育学部・教育発達科学研究科	16	13	81.3%	0		100.0%
法学部・法学研究科	43	34	79.1%	0		100.0%
経済学部・経済学研究科	20	19	95.0%	3		98.6%
情報文化学部	3	2	66.7%	1		98.7%
理学部・理学研究科	15	12	80.0%	13		95.5%
医学部・医学系研究科 医学	22	20	90.9%	2		97.9%
保健学	0			3		98.5%
工学部・工学研究科	72	60	83.3%	20		97.5%
農学部・生命農学研究科	2	2	100.0%	1		99.5%
国際開発研究科	21	10	47.6%	—	—	
多元数理科学研究科	1	1	100.0%	—	—	
国際言語文化研究科	20	19	95.0%	—	—	
環境学研究科	16	12	75.0%	—	—	
情報科学研究科	6	6	100.0%	—	—	
留学生センター				—	—	
その他	44	37	84.1%	—	—	
合計	325	269	82.8%	43	0	98.1%

*以下 学部・研究科は略し、対象外は含まず。

3) 特殊健康診断

本健診は放射線（表3）あるいは有害物質を取り扱う（表4，5）学生に対して行うものである。健診項目および健診結果を表に示した。

I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生

平成20年度 特殊健康診断受検状況（放射線従事学生対象）

1. 皮膚検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 及び 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
理学部	369	147	6	1	121	1	276	275	1		645
医学部・医学	80	46	22	10	9	8	95	94	1		175
医学部・保健学	117	41	0	41	1	0	83	83	0		200
工学部	405	288	33	17	43	1	382	379	3		787
農学部	110	55	6	23	29	1	114	114	0		224
情報文化・情報科学	20	11	3	0	0	1	15	15	0		35
環境学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	1	0	0	0	0	1	1	0		1
合計	1,101	589	70	92	203	12	966	961	5	0	2,067

2. 眼の検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 及び 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
理学部	371	147	4	1	121	1	274	271	3		645
医学部・医学	80	46	22	10	9	8	95	95	0		175
医学部・保健学	117	41	0	41	1	0	83	83	0		200
工学部	412	288	27	16	43	1	375	370	5		787
農学部	111	55	5	23	29	1	113	113	0		224
情報文化・情報科学	19	11	4	0	0	1	16	15	1		35
環境学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	1	0	0	0	0	1	1	0		1
合計	1,110	589	62	91	203	12	957	948	9	0	2,067

3. 血液検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 及び 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
理学部	369	147	6	1	121	1	276	269	6	1	645
医学部・医学	78	46	22	10	9	10	97	95	2		175
医学部・保健学	116	41	1	41	1	0	84	79	5		200
工学部	409	288	30	16	43	1	378	367	11		787
農学部	110	55	6	23	29	1	114	110	4		224
情報文化・情報科学	19	11	4	0	0	1	16	16	0		35
環境学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
その他	0	1	0	0	0	0	1	1	0		1
合計	1,101	589	69	91	203	14	966	937	28	1	2,067

前年血液要観察者1名第1回検査時希望者で受検済み

放射線を取り扱う学生の特健康診断実施要領

名古屋大学において放射線業務（R I、放射線発生装置、X線発生装置等を用いた実習、実験、診療等）を行う学生（学部生、大学院生、研究生等）は以下に従い、「特健康診断」を受けなければならない。

対象者区分

1. 新規従事者

1) 新たに放射線業務を行う者：

問診および検査（血液、皮膚、眼の検査）が必須である。その後の健康診断は、継続従事者に準じて実施する。

2. 継続従事者

1) 継続して放射線業務を行う者：

一年を超えない期間ごとに問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなくてはならない。

2) 放射線業務あるいは従事者登録の期間にブランクがある者（過去に R I を取り扱ったがその後放射線作業をせず放射線従事者としての登録をしていない者、海外留学などで放射線業務に中断期間がある者等）：

放射線業務を始める前に問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなくてはならない。所属部局の放射線取扱主任者は中断期間等について被ばく歴等の調査、判定を行う。

放射線業務従事者特健康診断問診受検票（以下、問診受検票という）

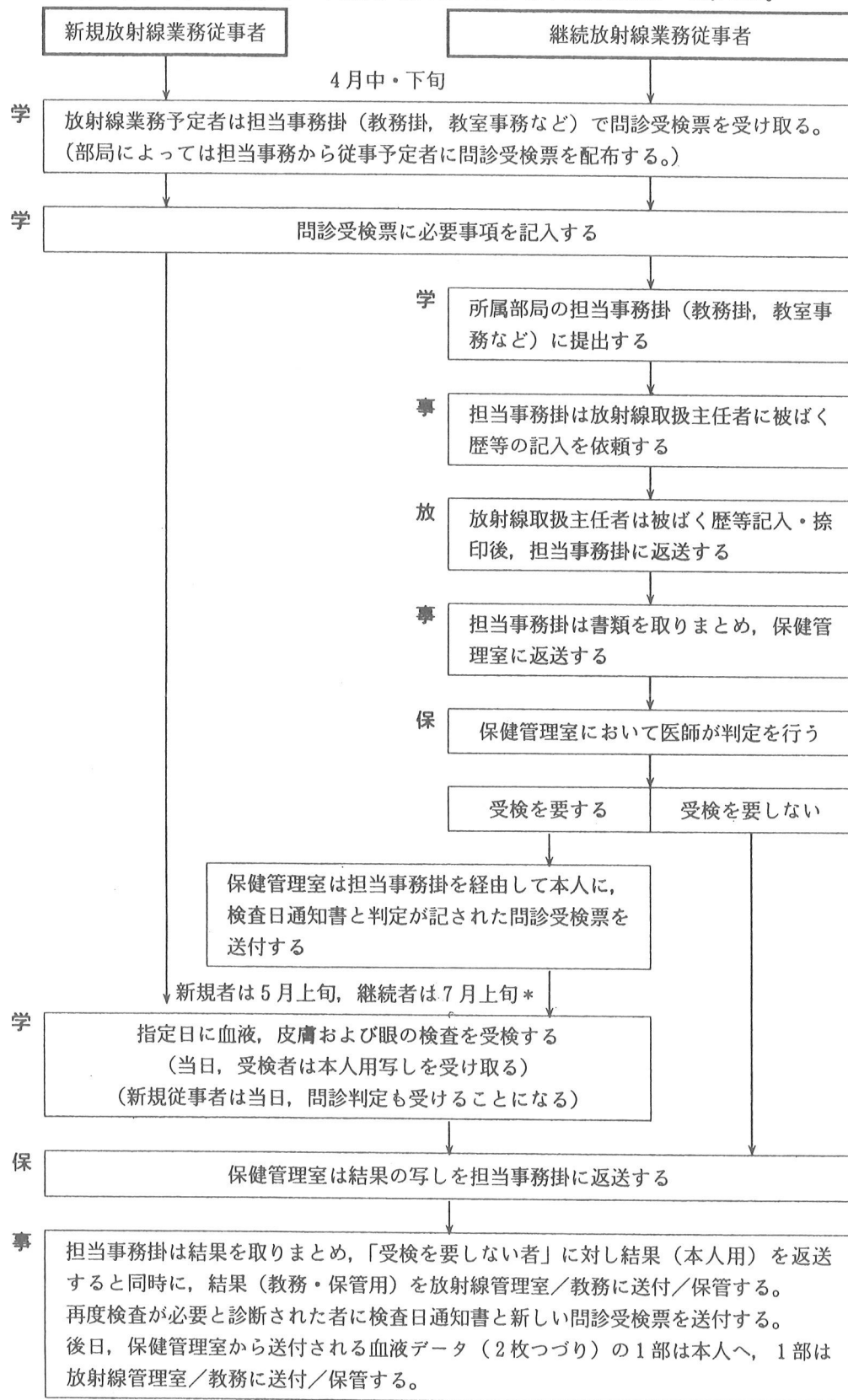
1. 本人用、教務掛・放射線管理室用、保健管理室用の三枚複写になっている。
2. 年度当初に保健管理室から各部局教務掛に配布されたものを「手続きの流れ」に沿って処理する。

その他

1. 名古屋大学保健管理室での血液検査は採血日をもって検査完了とみなす。但し、後日保健管理室から送付される血液検査データ（2枚つづり）を、教務掛は一部を本人に配布するとともに一部を保管または放射線管理室に送付する。
2. 健康診断結果（問診受検票および血液検査データ）は本人保管を原則とする。本人は放射線管理室からの依頼に応じてその写しを提出する義務がある。提出のない場合は放射線業務従事者としての登録ができない。
3. 急な R I 業務開始や予定外の R I 業務等で特健康診断を受ける必要がある場合、年間健診予定日に関し保健管理室に確認し、他施設で受診する。そのうえで、保健管理室で判定をうける必要がある。その場合、結果は6ヵ月以内のものを有効とする。
4. 放射線取扱主任者、保健管理室長に被ばく予想量が5 mSv 以下であっても必要に応じて検査を勧告できる。また本人も検査を希望・受診することができる。
5. 妊娠中、妊娠の可能性のある女子従事者は放射線取扱主任者にその旨照会する。

特殊健康診断の手続きの流れ【学生】

各枠外に主たる作業者を 学：学生，事：事務掛，放：主任者，保：保健管理室 で示した。



*：特殊健康診断予定期間はここに示した時期を含め年4回設けられている。

放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票 (略：問診受検票)

No

本人用

折り曲げ厳禁

平成[]年度		学生	
学生番号		記入年月日	年 月 日
フリガナ		性別	男 ・ 女
氏名		生年月日	年 月 日生
学部 研究科	学科 専攻	コース (B・M・D) 研究室 年	*所属学部・所属大学の変更 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (前所属：)
電話又は内線番号			

★従事者記入欄：この欄は従事者自身が記入してください。該当区分にチェックし、必要事項も記入してください。

対象区分調査	<input type="checkbox"/> 新規従事者	初めて放射線業務に従事予定の者 (放射線業務に従事予定で、以前に放射線業務従事者登録をしたことがない者) ※指定された日時に、この用紙を持参して特殊健康診断を受けてください。 (該当者はチェック) <input type="checkbox"/> 本年度の初回特殊健康診断開催前に放射線業務に従事するために、前年度末の特殊健康診断を受診済みの者 ※継続従事者と同手続きとします。この用紙に前回の受検票の写しを添付し、指定の期日までに、所定の事務担当者に提出してください。
	<input type="checkbox"/> 継続従事者	以前から放射線業務に従事している者 ※指定日までに、この用紙を所定の事務担当者に提出してください。
I] 本年度春期定期健康診断： <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診		
II] 業務内容調査： ① 業務予定内容： <input type="checkbox"/> 非密封R I の取扱い <input type="checkbox"/> 密封R I の取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立ち入り <input type="checkbox"/> その他 (具体的に：) ② 業務予定場所： <input type="checkbox"/> 所属部局内 <input type="checkbox"/> 大学内 (具体的に：) <input type="checkbox"/> 他の事業所 (具体的に：)		
継続従事者は以下も記入 ③ 前の業務場所： <input type="checkbox"/> 本年度と同じ <input type="checkbox"/> 異なる (具体的に：) ④ 業務内容の変更、従事時間数の増加、その他の理由による被曝線量の増加が見込まれますか？ <input type="checkbox"/> 被曝線量減少又は同程度の予定 <input type="checkbox"/> 被曝線量増加予定 (線量予想、原因：)		
III] 自覚症状調査：放射線業務に関連して、身体に関して心配事がありましたら記入してください。 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (具体的に：)		

★主任者記入欄 (継続従事者のみ)：この欄は放射線取扱主任者が記入します。

前年度の特殊健康診断(検査)受検状況 (全てでない場合、検査項目に○をつける)	いずれかにチェック
<input type="checkbox"/> 受検済み <input type="checkbox"/> 受検不要 <input type="checkbox"/> 未受検 (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液)	<input type="checkbox"/> 前年度従事している <input type="checkbox"/> 本年度より従事 <input type="checkbox"/> 以前従事：平成 年 月 ~ 平成 年 月
前年度の(前回特殊健康診断後)被曝線量	女子腹部 過去の被曝歴 (特記事項欄に作業の場所、内容、期間、線量、放射線障害の有無、自覚症状の有無その他放射線による被曝の状況を記入) <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 特記事項
本年度の被曝予測：5mSvを超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
上記のとおりであることを認めます。 平成 年 月 日 放射線取扱主任者 印	

★保健管理室記入欄：この欄は保健管理室が記入します。

問診項目の結果より、本年度の特殊健康診断については			
	新規従事者	継続従事者	実施場所
皮膚検査	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 () 平成 年 月 日 医師名 印
眼の検査	上記と同じ	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 () 平成 年 月 日 医師名 印
血液検査	上記と同じ	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	検査結果 (別紙) は後日報告 平成 年 月 日 医師名 印
平成 年 月 日 保健管理室長 押田芳治 印			

*血液検査必須項目：赤血球数、血色素量又はヘマトクリット値、白血球数、白血球百分率

要保管

放射線を扱う業務に必要です。この用紙及び血液結果のある方はその用紙も必ず保管してください。

II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生

平成20年度 有害物質等従事学生の調査及び検査結果

調査結果

学部・研究科	有害物質取扱者	健康診断希望者	受検者
理学部	348	121	87
医学部・医学	6	1	1
医学部・保健学	18	5	3
工学部	395	219	192
農学部	201	65	43
環境学研究科	14	3	1
情報文化・情報科学	8	5	4
合計	990	419	331

健康診断結果

検査	学部・研究科	受検者	受診結果				
			異常なし	要観察	要医療	再検査	未受検
皮 膚	理	87	87	0	0	0	0
	医	1	1	0	0	0	0
	保健	3	3	0	0	0	0
	工	192	192	0	0	0	0
	農	43	43	0	0	0	0
	環境	1	1	0	0	0	0
	情報	4	4	0	0	0	0
	計	331	331	0	0	0	0
眼	理	87	87	0	0	0	0
	医	1	1	0	0	0	0
	保健	3	3	0	0	0	0
	工	192	192	0	0	0	0
	農	43	43	0	0	0	0
	環境	1	1	0	0	0	0
	情報	4	4	0	0	0	0
	計	331	331	0	0	0	0
血 液	理	87	80	5	0	2	0
	医	1	1	0	0	0	0
	保健	3	3	0	0	0	0
	工	192	170	12	0	10	0
	農	43	35	2	0	6	0
	環境	1	0	1	0	0	0
	情報	4	0	2	0	2	0
	計	331	289	22	0	20	0
尿	理	77	75	0	0	2	10
	医	1	1	0	0	0	0
	保健	3	3	0	0	0	0
	工	188	188	0	0	0	4
	農	39	39	0	0	0	4
	環境	1	1	0	0	0	0
	情報	4	4	0	0	0	0
	計	313	311	0	0	2	18
そ の 他	理	87	87	0	0	0	0
	医	1	1	0	0	0	0
	保健	3	3	0	0	0	0
	工	192	192	0	0	0	0
	農	43	43	0	0	0	0
	環境	1	1	0	0	0	0
	情報	4	4	0	0	0	0
	計	331	331	0	0	0	0

* その他……握力・バセドウ氏病・視診・四肢機能

表 4

平成 年度 特別有害業務等従事状況確認票（学生）

※太枠内をボールペンで力を入れて記入して下さい。(年号、氏名、希望欄複写)

学 部		学 科	
研究科		専 攻	
学生番号			年
フリガナ			
氏名			

特別健康診断を
1 希望する
2 希望しない

実験実習等に従事することによって生じる健康上の問題について検査及び健康相談を希望するかどうかを回答して下さい。該当がない場合は提出する必要がありません。

本年度の特殊健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる実験実習に常時従事した場合には、○を付けて、指定日までに所属部局の事務に提出してください。

	特定	イ	高熱物体および、暑熱な場所における業務		有機	48	ガソリン
	特定	カ	その他労働厚生大臣が定める業務		有機	49	コールタールナフサ
	特定	ヌ	深夜業を含む業務		有機	50	石油エーテル
	特定	ロ	低温物質および、寒冷な場所における業務		有機	51	石油ナフサ
	特定	リ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務		有機	52	石油ベンジン
	給食	01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務		有機	53	テレピン油
	有機	01	アセトン		有機	54	ミネラルスピリット
	有機	02	イソブチルアルコール		有機	55	前各号に掲げる物のみから成る混合物
	有機	03	イソプロピルアルコール		鉛	01	鉛の製練又は精練を行う工程における業務
	有機	04	イソペンチルアルコール		鉛	02	銅又は亜鉛の製練又は精練を行う工程における業務
	有機	05	エチルエーテル		鉛	03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務
	有機	06	エチレンジクロールモノエチルエーテル		鉛	04	電線又はケーブルを製造する工程における業務
	有機	07	エチレンジクロールモノエチルエーテルアセテート		鉛	05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
	有機	08	エチレンジクロールモノブチルエーテル		鉛	06	鉛化合物を製造する工程における業務
	有機	09	エチレンジクロールモノメチルエーテル		鉛	07	鉛ライニングの業務[仕上げの業務を含む]
	有機	10	オルト-ジクロルベンゼン		鉛	08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
	有機	11	キシレン		鉛	09	鉛装置の内部における業務
	有機	12	クレゾール		鉛	10	鉛装置の破砕、溶接、溶断又は切断の業務
	有機	13	クロルベンゼン		鉛	11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉払いの業務
	有機	14	クロロホルム		鉛	12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
	有機	15	酢酸イソブチル		鉛	13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
	有機	16	酢酸イソプロピル		鉛	14	鉛化合物を含有する釉薬の焼成の業務
	有機	17	酢酸イソペンチル		鉛	15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
	有機	18	酢酸エチル		鉛	16	溶融した鉛を用いて行なう業務
	有機	19	酢酸ブチル		鉛	17	動力を用いて印刷する工程における業務
	有機	20	酢酸プロピル		鉛	18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
	有機	21	酢酸ペンチル		特化	002	ベンジジン及びその塩
	有機	22	酢酸メチル		特化	003	四-アミノジフェニル及びその塩
	有機	23	四塩化炭素		特化	004	四-ニトロジフェニル及びその塩
	有機	24	シクロヘキサノール		特化	005	ビス[クロロメチル]エーテル
	有機	25	シクロヘキサノン		特化	006	ペーターナフチルアミン及びその塩
	有機	26	1, 4-ジオキサン		特化	007	ベンゼンゴムのり
	有機	27	1, 2-ジクロルエタン		特化	008	アモサイト
	有機	28	1, 2-ジクロルエチレン		特化	009	クロシドライト
	有機	29	ジクロルメタン		特化	101	ジクロルベンジジン及びその塩
	有機	30	N, N-ジメチルホルムアミド		特化	102	アルファー-ナフチルアミン及びその塩
	有機	31	スチレン		特化	103	塩素化ビフェニル[PCB]
	有機	32	1・1・2-トリクロルエタン		特化	104	オルト-トリジン及びその塩
	有機	33	テトラクロルエチレン		特化	105	ジアニシジン及びその塩
	有機	34	テトラヒドロフラン		特化	106	ベリリウム及びその化合物
	有機	35	1, 1, 1-トリクロルエタン		特化	107	ベンゾトリクロリド
	有機	36	トリクロルエチレン		特化	201	アクリルアミド
	有機	37	トルエン		特化	202	アクリロニトリル
	有機	38	二硫化炭素		特化	203	アルキル水銀化合物
	有機	39	ノルマルヘキサン		特化	205	エチレンイミン
	有機	40	1-ブタノール		特化	206	塩化ビニル
	有機	41	2-ブタノール		特化	207	塩素
	有機	42	メタノール		特化	208	オーラミン
	有機	43	メチルイソブチルケトン		特化	209	オルト-フタロジニトリル
	有機	44	メチルエチルケトン		特化	210	カドミウム及びその化合物
	有機	45	メチルシクロヘキサノール		特化	211	クロム酸及びその塩
	有機	46	メチルシクロヘキサノン		特化	212	クロロメチルメチルエーテル
	有機	47	メチルブチルケトン		特化	213	五酸化バナジウム

表 4

本年度の特殊健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる実験実習に常時従事した場合には、○を付けて、指定日までに所属部局の事務に提出してください。

特化	214	コールタール	じん肺	010	土石、岩石又は鉱物を掘削する場所における作業
特化	215	三酸化砒素	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	216	シアン化カリウム	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	217	シアン化水素	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	218	シアン化ナトリウム	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩粉を散布する場所での作業
特化	219	3・3`ジクロロ-4・4`ジアミノジフェニルメタン	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	220	臭化メチル	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	221	重クロム酸及びその塩	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破砕する作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	226	パラジメチルアミノアゾベンゼン	じん肺	120	ガラス又はほうろうを製造する工程における作業
特化	227	パラニトロクロルベンゼン	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	228	弗化水素	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	229	ベータプロピオラクトン	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	230	ベンゼン	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	231	ペンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、熔融する工程における作業
特化	232	マゼンタ	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	233	マンガン及びその化合物	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破砕する作業
特化	234	沃化メチル	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジングする作業
特化	235	硫化水素	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	236	硫酸ジメチル	じん肺	220	染土の付着した草を製織したりする場所における作業
高気圧	10	高圧室内業務・高山業務	じん肺	230	長大ずい道内部のホッパー等の近くの場所における作業
高気圧	20	潜水業務	石綿		石綿を取り扱う作業
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務	その他	20	キーパンチャーの業務
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含む残さい物を取り扱う業務	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰痛に著しい負担の作業
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務	その他	29	VDT作業(週15時間以上従事又は自覚症状がある者)
歯科	1	塩酸			
歯科	2	硝酸			
歯科	3	硫酸			
歯科	4	亜硫酸			
歯科	5	弗化水素			
歯科	6	黄燐			
歯科	7	その他歯又は指示組織に有害な物			

3. 職員の健康診断

1) 一般定期健康診断

職員の健康診断は人事労務課福祉掛が計画を立案，統括している。

定期健康診断の実施計画，実施要領は別表の通りである。二次健診（再検査，精密検査）も実施している。必要に応じて外部機関への受診をすすめ，紹介等を行っている。

職員一般定期健康診断実施状況

検 査 項 目	対 象 人 員	実 施 時 期 (月)
胸 部 X 線 間 接 撮 影 検 査	約 5,600人	7 (12)
“ 直 接 撮 影 検 査	約 300	8・1
尿 検 査	約 5,600	7 (12)
血 圧 検 査	約 5,600	7 (12)
肝 臓 機 能 検 査	約 2,900	7 (12)
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査	約 2,900	7 (12)
心 電 図 検 査		
腹 囲	約 2,900	7 (12)
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)		

() 7月受診できなかった者

職員一般定期健康診断実施要領

検 査 項 目	実施回数	対 象 者
胸 部 X 線 間 接 撮 影 検 査	年1回	全 職 員 ただし，前年度検査においてD 2以上の判定を受けた職員を除く
“ 直 接 撮 影 検 査	年1・2回	同上検査にて要精検と判定された職員及び前年度検査においてD 2以上の判定を受けた職員
尿 検 査	年1回	全職員
血 圧 検 査		
身 長 体 重 ・ 視 力 検 査		
肝 臓 機 能 検 査	年1回	35歳及び40歳以上の職員
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査		
心 電 図 検 査	年1回	35歳・40歳及び45歳以上の職員
腹 囲		
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)	年1回	35歳・40歳及び45歳以上の職員

職員がん検診実施要領

検 査 項 目	実施回数	対 象 者
胃 の X 線 間 接 撮 影 検 査	5 月	40歳以上の職員
子 宮 が ん 検 査	9 月	30歳以上の女子職員で受検を希望する者
大腸がん検診（便潜血反応検査）	2 月	40歳以上の職員

平成20年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（胸部X線間接撮影）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
	東 山 地 区	3,037	1,746	1,291	57.5%	19	87	
	鶴 舞 地 区	2,427	2,128	299	87.7%	15	89	
	大 幸 地 区 他	142	99	43	69.7%	0	7	
	小 計	5,606	3,973	1,633	70.9%	34	183	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者		1,092					
	合 計	5,606	5,065	541	90.3%	34	183	

対象者には直接撮影指示の者も含まれる

平成20年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（尿：蛋白・糖・潜血）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	3,037	1,522	1,515	50.1%	0	71	
	鶴 舞 地 区	2,427	1,971	456	81.2%	0	92	
	大 幸 地 区 他	142	82	60	57.7%	0	5	
	小 計	5,606	3,575	2,031	63.8%	0	168	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者 (4~10月実施)		751					
	合 計	5,606	4,326			0	168	
2 ※	東 山 地 区 等	1,648	608	1,040	36.9%	4	23	
	鶴 舞 地 区 等	1,914	1,140	774	59.6%	6	43	
	小 計	3,562	1,748	1,814	49.1%	10	66	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者		262					
	合 計	3,562	2,010	1,552	56.4%	10	66	

※対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

平成20年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（血圧検査）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	3,037	1,577	1,460	51.9%	20	413	
	鶴 舞 地 区	2,427	2,089	338	86.1%	9	312	
	大 幸 地 区 他	142	82	60	57.7%	3	23	
	小 計	5,606	3,748	1,858	66.9%	32	748	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者		751					
	合 計	5,606	4,499	1,107	80.3%	32	748	
2 ※	東 山 地 区 等	1,618	659	959	40.7%	256	259	
	鶴 舞 地 区 等	1,914	1,270	644	66.4%	4	215	
	小 計	3,532	1,929	1,603	54.6%	260	474	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者		262					
	合 計	3,532	2,191	1,341	62.0%	260	474	

※対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

平成20年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（血液検査）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
	東 山 地 区	2,227	1,076	1,151	48.3%	74	487	
	鶴 舞 地 区	1,886	1,615	271	85.6%	102	568	
	大 幸 地 区 他	116	71	45	61.2%	10	46	
	小 計	4,229	2,762	1,467	65.3%	186	1,101	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者		946					
	合 計	4,229	3,708	521	87.7%	186	1,101	

対象者は特定対象者（名大オリジナル）の者を含む

平成20年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（心電図検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
東 山 地 区	1,924	910	1,014	47.3%	13	49	
鶴 舞 地 区	882	774	108	87.8%	11	49	
大 幸 地 区	111	65	46	58.6%	2	3	
小 計	2,917	1,749	1,168	60.0%	26	101	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		946					
合 計	2,917	2,695	222	92.4%	26	101	

平成20年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（聴力：オーディオ検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
東 山 地 区	1,680	720	960	42.9%	0	73	
鶴 舞 地 区	741	665	76	89.7%	0	76	
大 幸 地 区	95	58	37	61.1%	0	5	
小 計	2,516	1,443	1,073	57.4%	0	154	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		710					
合 計	2,516	2,153	363	85.6%	0	154	

平成20年度 職員がん検診

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
胃 の 検 査	2,618	382	2,236	14.6%	59	0	
子 宮 が ん 検 査	1,537	645	892	42.0%	10	0	
便 潜 血 反 応 検 査	2,602	254	2,348	9.8%	15	0	

2) 特殊健康診断

本健診の実施計画およびその結果を表に示した。このうちVDT検診には、多元数理科学研究科宮尾克教授の協力を得た。

職員特殊健康診断実施計画

	検 査 項 目	実 施 時 期 (月)
1	血 液 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
2	血 液 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
3	皮 膚 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
4	皮 膚 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
5	眼 の 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
6	眼 の 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
7	口 腔 検 査	7・12
8	血 圧 検 査	7・12
9	尿 検 査	7・12
10	胸部X線直接撮影検査	8・1
11	聴力及び平衡機能等検査	6・11
12	整形外科系検査(上肢・肩・背部等)	2
13	心肺機能検査	6・11
14	V D T 検 診	2

() 学生検査日受診可能

平成20年度 職員特殊健康診断実施結果(特定有害業務：RIを除く)

検 査 項 目	回数	対象者数	受検者数	受 検 率	備 考
心 肺 機 能 検 査	1	27	8	29.6%	
	2	28	12	42.9%	
耳 鼻 科 系 検 査	1	35	9	25.7%	
	2	38	9	23.7%	
眼 の 検 査	1	21	15	71.4%	
	2	21	8	38.1%	
口 ぐ う 検 査	1	392	172	43.9%	
	2	407	161	39.6%	
血 液 検 査	1	一般(特定)検査に含まれる			
	2				
皮 膚 検 査	1	348	138	39.7%	
	2	359	134	37.3%	
整 形 外 科 系 検 査	1	992	788	79.4%	
V D T	1	1,600	187	11.7%	

* 尿検査及び血圧検査の1回目は一般定期健康診断実施結果に含まれる。

平成20年度 職員特別定期健康診断実施結果（放射線（R I）業務）

検査項目	回数	対象者数	省略者数	受検者数	備考
血液検査	1	1,063	903	131	
	2	1,062	992	40	
皮膚検査	1	1,063	903	114	
	2	1,062	992	26	
眼の検査	1	1,063	903	114	
	2	1,062	992	27	

平成20年度 職員健康診断実施結果（胸部X線直接撮影）

検査項目	回数	対象者数	受検者数	受検率	備考
一般検査	1	65	57	87.7%	
	2	47	38	80.9%	
特殊検査（特定有害）	1	117	57	48.7%	
	2	118	57	48.3%	

他院等での受診報告を含む

3) 特定健康診査

本年度より、一般健康診断あるいは人間ドックのデータを基にして、40歳以上の職員を対象とする保健指導を始めた。初年度であり、動機づけ支援レベル以上と判定された職員のうち希望者に対してのみ行った。保健管理室の保健師が一人に一回約30分ほどの時間をかけて数回の指導を行った。

平成20年度職員特定健診特定保健指導実施結果

項目		1回目	2回目
メタボリックシンドローム判定		1,666	253
保健指導 区分	積極的支援	100	12
	動機付け支援	109	15
	支援なし（治療中など）	1,156	114
対象外（40歳未満・75歳以上）		180	99
判定不能（ドック予定者・項目不足）		121	13

* 臨時健診 2 回目に含む

表 6

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属
 個人番号
 氏名 殿 人事労務課福祉掛

本年度の特別定期健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する(した)場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

特定	イ	光熱物体および、暑熱な場所における業務	有機	49	コールタールナフサ
特定	ヌ	深夜業を含む業務	有機	50	石油エーテル
特定	ロ	低温物質および、寒冷な場外における業務	有機	51	石油ナフサ
特定	ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務	有機	52	石油ベンジン
給食	01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務	有機	53	テレピン油
有機	01	アセトン	有機	54	ミネラルスピリット
有機	02	イソブチルアルコール	有機	55	前各号に掲げる物のみから成る混合物
有機	03	イソプロピルアルコール	鉛	01	鉛の製練又は精練を行う工程における業務
有機	04	イソペンチルアルコール	鉛	02	銅又は亜鉛の製練又は精練を行う工程における業務
有機	05	エチルエーテル	鉛	03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務
有機	06	エチレングリコールモノエチルエーテル	鉛	04	電線又はケーブルを製造する工程における業務
有機	07	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	鉛	05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
有機	08	エチレングリコールモノブチルエーテル	鉛	06	鉛化合物を製造する工程における業務
有機	09	エチレングリコールモノメチルエーテル	鉛	07	鉛ライニングの業務[仕上げの業務を含む]
有機	10	オルト-ジクロロベンゼン	鉛	08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
有機	11	キンレン	鉛	09	鉛装置の内部における業務
有機	12	クレゾール	鉛	10	鉛装置の破碎、溶接、溶断又は切断の業務
有機	13	クロロベンゼン	鉛	11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉扱いの業務
有機	14	クロロホルム	鉛	12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
有機	15	酢酸イソブチル	鉛	13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
有機	16	酢酸イソプロピル	鉛	14	鉛化合物を含有する釉薬の焼成の業務
有機	17	酢酸イソペンチル	鉛	15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
有機	18	酢酸エチル	鉛	16	溶融した鉛を用いて行なう業務
有機	19	酢酸ブチル	鉛	17	動力を用いて印刷する工程における業務
有機	20	酢酸プロピル	鉛	18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
有機	21	酢酸ベンチル	電離	10	医療用のX線装置
有機	22	酢酸メチル	電離	11	工業用等のX線装置で撮影用のもの
有機	23	四塩化炭素	電離	12	工業用等のX線装置で透視用のもの
有機	24	シクロヘキサノール	電離	13	工業用等のX線装置で分析用のもの
有機	25	シクロヘキサノン	電離	14	工業用等のX線装置でその他のもの
有機	26	1, 4-ジオキサン	電離	15	荷電粒子を加速する装置
有機	27	1, 2-ジクロロエタン	電離	16	製造工程中のX線管
有機	28	1, 2-ジクロロエチレン	電離	17	製造工程中のケノトン
有機	29	ジクロロメタン	電離	18	医療用のガンマ線照射装置
有機	30	N, N-ジメチルホルムアミド	電離	19	工業用等のガンマ線照射装置
有機	31	スチレン	電離	20	ガンマ線照射装置以外の放射性物質を装備している機器
有機	32	1・1・2・2-テトラクロロエタン	電離	21	放射性物質
有機	33	テトラクロロエチレン	電離	22	原子炉
有機	34	ラトラヒドロフラン	電離	23	坑内におけるラドンガス
有機	35	1, 1, 1-トリクロロエタン	特化	002	ベンジン及びその塩
有機	36	トリクロロエチレン	特化	003	四-アミノジフェニル及びその塩
有機	37	トルエン	特化	004	四-ニトロジフェニル及びその塩
有機	38	二硫化炭素	特化	005	ビス[クロロメチル]エーテル
有機	39	ノルマルヘキサン	特化	006	ペーターナフチルアミン及びその塩
有機	40	1-ブタノール	特化	007	ベンゼンゴムのり
有機	41	2-ブタノール	特化	008	アモサイト
有機	42	メタノール	特化	009	クロシドライト
有機	43	メチルイソブチルケトン	特化	101	ジクロロベンジン及びその塩
有機	44	メチルエチルケトン	特化	102	アルファーナフチルアミン及びその塩
有機	45	メチルシクロヘキサノール	特化	103	塩素化ビフェニル[PCB]
有機	46	メチルシクロヘキサノン	特化	104	オルト-トリジン及びその塩
有機	47	メチルブチルケトン	特化	105	ジアニジン及びその塩
有機	48	ガソリン	特化	106	ベリリウム及びその化合物

*裏面についても確認願います。

表 6

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属

個人番号

氏名 殿 人事労務課福祉掛

本年度の特別定期健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する(した)場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

特化	107	ベンゾトリクロリド	歯科	7	その他歯又は指示組織に有害な物
特化	201	アクリルアミド	じん肺	010	土石、岩石又は鉱物に掘削する場所における作業
特化	202	アクリロニトリル	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	203	アルキル水銀化合物	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	204	石綿[アモサイト及びクロシドライトを除く]	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	205	エチレンイミシ	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩粉を散布する場所での作業
特化	206	塩化ビニル	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	207	塩素	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	208	オーラミン	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	209	オルトフタロジニトリル	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破砕する作業
特化	210	カドミウム及びその化合物	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	211	クロム酸及びその塩	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	212	クロロメチルメチルエーテル	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	213	五酸化バナジウム	じん肺	120	ガラス又はほうろうを製造する工程における作業
特化	214	コールタール	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	215	三酸化砒素	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	216	シアン化カリウム	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	217	シアン化水素	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	218	シアン化ナトリウム	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、熔融する工程における作業
特化	219	3・3ジクロロ-4・4ジアノジフェニルメタン	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	220	臭化メチル	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破砕等をする作業
特化	221	重クロム酸及びその塩	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジググする作業
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	220	染土の付着したい草を製織したりする場所における作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	230	長大ずい道内部のホッパー等の近くでの場所における作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	240	石綿を取り扱う作業
特化	226	パラジメチルアミノアゾベンゼン	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
特化	227	パラニトロクロルベンゼン	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
特化	228	弗化水素	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
特化	229	ペータープロピオラクトン	その他	20	キーパンチャーの業務
特化	230	ベンゼン	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
特化	231	ペンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
特化	232	マゼンタ	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰痛に著しい負担の作業
特化	233	マンガン及びその化合物	その他	29	VDT作業
特化	234	沃化メチル			
特化	235	硫化水素			
特化	236	硫酸ジメチル			
高気圧	10	高圧室内業務			
高気圧	20	潜水業務			
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務			
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務			
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務			
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務			
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含有する残さい物を取り扱う業務			
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務			
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務			
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務			
歯科	1	塩酸			
歯科	2	硝酸			
歯科	3	硫酸			
歯科	4	亜硫酸			
歯科	5	弗仁水素			
歯科	6	黄燐			

*裏面についても確認願います。

健康診断の流れ〔職員〕

- 1 初めて放射線業務を行う予定の者、放射線業務に従事している者は、4月上旬に調査される特定有害業務等従事状況届出票（別紙）の放射線業務欄（電離10～23）に記入しておく。
人事労務課は、特定有害業務等従事状況届出票により放射線業務従事者に対して、「問診票」を各部局の衛生管理担当者を通して配付する。【5月下旬】 【10月中旬】
↓
- 2 放射線従事者は、配付された「問診票」に記入の上、各部局の衛生管理担当者へ送付する。各部局の担当者は、「問診票」に放射線取扱主任者による被ばく歴評価（押印）後、人事労務課へ報告する。（ただし、初めて放射線業務に従事する新規従事者は放射線取扱主任者の確認を必要としない。）【5月下旬】 【10月下旬】
↓
- 3 各部局の衛生管理担当者は、記載事項を確認のうえ「問診票」を人事労務課まで送付する。
【5月末】 【10月末】
↓
- 4 人事労務課は「問診票」の判定を保健管理室長に依頼し、その判定結果を各部局の衛生管理担当者に通知し、同「問診票」を、各部局の衛生管理担当者とR I管理室が保管するとともに、衛生管理担当者は「問診票」の（写）を本人に送付する。【6月中旬】 【11月下旬】
↓
- 5 健康診断実施通知書を配付する。【6月下旬】 【11月下旬】
↓
- 6 検査（血液、皮膚、眼、定期健康診断）の実施【7月】 【12月】

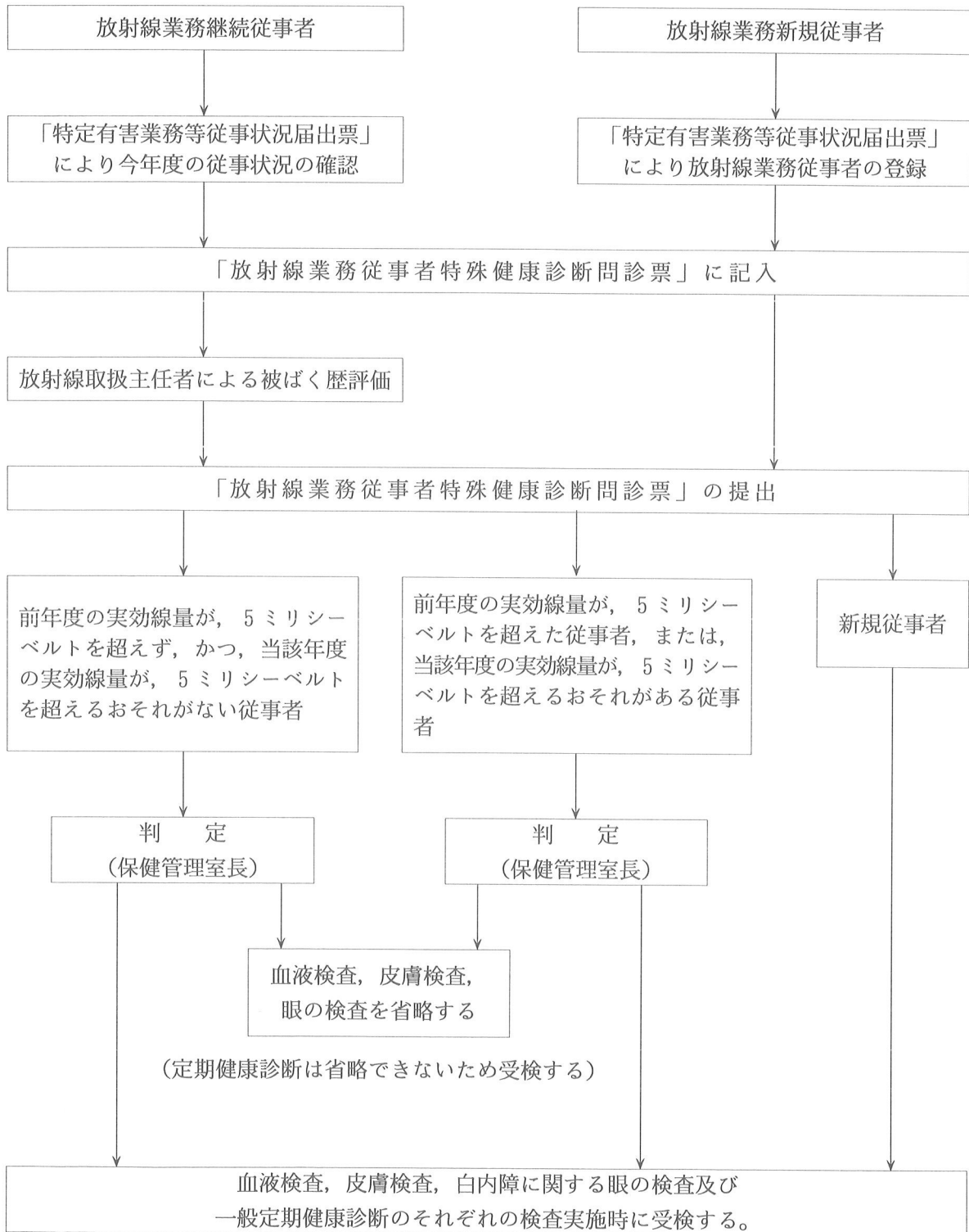
注意

初めて放射線業務を行う者は、上の流れで健康診断を受けるのが本来であるが、下の場合等急ぎ健康診断を受ける必要がある場合は、「放射線を取り扱う学生の特殊健康診断」実施時に受検が可能である。

- ・ 5月、7月のアイソトープ総合センター主催R I講習受講等で、上の流れでは間に合わない場合
- ・ 年度途中で健康診断の受検が必要となった場合

但し、受検の際は職員専用の問診受検票が必要となる。所属する部局の人事担当掛で指定の問診受検票を受け取り持参すること。

健康診断の手続きの流れ【職員】



名古屋大学におけるVDT作業形態の区分

作業形態	作業内容
A	この作業形態は、CRTディスプレイ画面からの読み取り及びキー操作のVDT作業を連続的に行い、1週間のVDT作業が15時間以上の職員をいう。
B	この作業形態は、CRTディスプレイ画面からの読み取り及びキー操作のVDT作業を断続的に行い、1週間のVDT作業が15時間以上の職員をいう。 作業形態のAとBとはVDT作業が連続的であるか断続的であるかの違いである。
C	1週間の労働時間の一部をある程度まとまったVDT作業に費やす職員（作業形態A及びBの者を除く。）を指す。 「ある程度まとまったVDT作業」とは、1週間に5時間以上15時間未満行うVDT作業をいう。
D	作業形態がA、B又はCのいずれにも属さない職員で、1週間のVDT作業が5時間未満のものをいう。

- 注) (1) 「連続的」とは、時間的にある程度継続した作業において、手持ちや利用者待ちがない作業をいい、相当な量の原稿の入力作業などがこれに当たる。
- (2) 「断続的」とは、手持ち、利用者待ちなどのためにVDT操作が断続する作業をいい、比較的すいている時間帯の受付業務などがこれに当たる。
- (3) VDT作業を1週間に5時間以上任意に行う教官は、作業形態Cとして取り扱う。

名古屋大学におけるVDT作業従事職員の健康管理の目安

職員健康管理 作業形態	環境管理	作業管理	健康管理等
A	指針の2により環境整備を行う。	指針の3により作業管理を行う。	職員健康教育
			配置前健康診査（全員） 定期健康診査（全員） 職場体操等
B	指針に準じて環境整備を行う。	指針の準じて作業管理を行う。	同上
C	必要に応じ、指針に準じて環境整備を行う。	必要に応じ、指針の準じて作業管理を行う。	職員健康教育 必要に応じ、指針に準じて健康診査等を行う。 (希望者)
D	必要に応じ、可能な範囲で指針に準じて環境整備を行う。	必要に応じ、可能な範囲で作業管理を行う。	職員健康教育 必要に応じ、可能な範囲で指針に準じて健康診査等を行う。 (症状のある希望者)

4. 健康相談と応急処置（学生・職員）

健康相談及び応急処置は、身体、精神2部門に分かれて実施しているので、精神部門の活動については、次の精神衛生業務で述べ、ここでは、身体健康相談およびその応急処置について記述する。

学生・職員別に、分野別・処置内容別に、月次推移で表に示した。また、東山キャンパスでは、当センター保健管理室から共通教育保健室に応急処置用の物品を配分し、双方で応急処置が行われているほか、相談・処置の内容によっては、全学教育棟保健室から当センター保健管理室に移して対応している。

健康相談担当医日割表

	月	火	水	木	金
午前	近藤孝晴	押田芳治	山本明子	石黒洋	小池晃彦
午後	山本明子	押田芳治	山本明子	石黒洋	小池晃彦

平成20年度 保健管理室利用件数表（月別，学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
健 康 相 談	内 科	28	67	96	79	20	34	107	93	86	101	41	53	805	
	外 科	2	3	3	3	2	2	3	2	3	2	0	3	28	
	整 形 外 科	9	12	24	15	7	8	19	10	15	4	10	10	143	
	皮 膚 科	2	14	12	10	7	5	9	4	2	6	1	1	73	
	眼 科	1	3	6	4	1	1	3	2	1	1	2	4	29	
	耳 鼻 科	0	6	4	3	4	0	3	2	4	1	1	0	28	
	婦 人 科	1	1	3	3	0	2	3	3	3	2	1	2	24	
	脳 神 経 外 科	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	1	2	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	11
	泌 尿 器 科	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
	そ の 他	0	1	2	1	2	2	2	1	1	2	3	0	0	17
	計	44	110	154	120	43	56	149	118	117	119	60	75	1,165	
	与 薬	86	140	179	157	76	95	184	170	168	174	103	125	1,657	
	医 療 機 関 へ の 紹 介	6	8	14	11	7	5	7	5	9	8	6	5	91	
健 康 診 断 書	10	9	15	49	14	5	6	11	20	37	12	7	195		
検 査	血 液	2	4	2	1	0	3	0	2	0	27	7	2	50	
	尿	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	
	心 電 図	0	1	2	0	0	0	0	2	1	1	1	0	8	
	X 線	3	4	8	7	1	2	3	4	1	0	3	3	39	
	血 圧	1	1	0	0	3	1	3	0	2	6	2	0	19	
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	4	3	4	5	6	4	0	0	0	3	0	29	
	視 力 ・ 色 覚	0	0	1	1	1	2	1	1	1	0	1	0	9	
	聴 力 (オージオメーター)	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	4	
	そ の 他	0	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
	計	6	17	19	14	13	14	12	10	7	34	17	5	168	
処 置	創 傷 処 置	27	41	33	31	19	26	27	31	32	18	9	10	304	
	湿 布	13	9	14	5	6	7	9	4	4	5	2	5	83	
	洗 眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	4	0	6	6	1	1	0	0	1	0	0	0	19	
	計	44	50	53	42	26	34	36	35	37	23	11	15	406	
窓 口 相 談 室	65	42	30	45	26	13	29	29	24	30	27	25	385		
休 養 室	2	9	8	21	3	4	6	4	5	2	3	0	67		
実 験 用 採 血	0	1	2	3	8	6	3	2	3	3	0	0	31		
定 期 外 健 康 診 断	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51		

平成20年度 保健室利用件数表（月別，学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相 談	身体的相談（内科）	11	17	21	17	1	0	33	16	6	7	2	1	132
	身体的相談（外科）	4	20	40	15	3	0	29	19	14	3	2	1	150
	身体的相談（その他）	6	12	12	7	0	1	5	3	0	0	0	0	46
	メンタル的相談	0	0	5	5	0	0	4	1	1	0	0	0	16
	計	21	49	78	44	4	1	71	39	21	10	4	2	344
処 置	創 傷 処 置	2	14	23	8	3	2	16	9	6	2	0	0	85
	湿 布	1	10	11	2	0	2	7	9	3	1	2	1	49
	耳 介 穿 刺	0	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	薬 処 方	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	休 養 室	7	9	12	11	0	0	13	4	3	3	1	0	63
	そ の 他	1	1	2	3	2	1	3	5	1	0	0	0	19
計	12	36	56	26	5	5	39	27	13	6	3	1	229	
検 査	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	0	0	6	1	6	0	1	14
	尿	6	107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113
	血 圧	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	5
紹 介	体 脂 肪	0	0	0	0	1	2	4	5	10	14	5	3	44
	保 健 管 理 室	2	3	8	8	1	0	7	3	1	1	0	0	34
	学 生 相 談 室 ・ メ ン タ ル	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	学 外 医 療 機 関	4	7	14	9	0	1	7	7	7	1	0	0	57
計	6	10	23	17	1	1	14	11	9	2	0	0	94	
場 所	正 課 中 の 傷 病	0	5	0	1	0	0	9	3	1	0	0	0	19
	課 外 活 動 中 の 傷 病	0	3	8	2	4	4	8	3	4	0	0	0	36

平成20年度 保健管理室利用件数表（月別，職員）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
健 康 相 談	内 科	12	13	13	15	8	24	13	21	29	23	23	11	205	
	外 科	0	0	1	2	0	2	2	2	2	2	0	1	14	
	整 形 外 科	0	3	6	1	1	1	4	0	2	1	3	1	23	
	皮 膚 科	3	2	3	3	2	2	3	3	0	0	0	0	21	
	眼 科	0	2	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	7	
	耳 鼻 科	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	
	婦 人 科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	脳 神 経 外 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5
	泌 尿 器 科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
そ の 他	1	0	0	0	1	1	2	1	1	0	2	0	0	9	
計	16	21	25	24	15	33	26	27	35	27	28	15	292		
与 薬	32	43	35	29	28	29	32	30	42	34	28	29	391		
医 療 機 関 へ の 紹 介	1	1	1	7	1	2	3	3	2	2	3	6	32		
健 康 診 断 書	1	3	1	3	2	3	2	0	0	0	0	1	16		
採 用 時 健 康 診 断 書	3	6	4	6	5	7	8	3	2	4	16	2	66		
検 査	血 液	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	
	尿	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	心 電 図	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	
	X 線	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5	
	血 圧	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5	
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴 力 (オージオメーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
計	0	0	6	3	2	3	1	1	1	0	2	3	22		
処 置	創 傷 処 置	0	3	1	3	3	1	7	1	2	0	0	0	21	
	湿 布	0	1	5	2	2	0	2	0	0	0	0	1	13	
	洗 眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
計	0	4	6	5	5	1	10	1	2	0	0	1	35		
窓 口 相 談	3	7	0	6	3	0	4	3	2	1	0	1	30		
休 養 室	2	0	2	1	2	1	1	1	2	0	0	1	13		
実 験 用 採 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
安 全 衛 生 関 連 の 指 導	4	6	9	4	7	6	5	10	9	7	5	3	75		
定 期 外 健 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

平成20年度 保健室利用件数表（月別，職員）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相 談	身体的相談（内科）	1	1	2	3	4	1	3	0	1	2	0	1	19
	身体的相談（外科）	1	0	0	1	0	1	0	3	0	2	0	0	8
	身体的相談（その他）	0	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	8
	メンタル的相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	2	4	4	9	3	3	1	4	0	1	35	
処 置	創 傷 処 置	0	1	0	1	0	3	0	2	0	2	0	0	9
	湿 布	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	薬 処 方	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	休 養	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	4
	そ の 他	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
計	2	2	2	4	2	6	2	2	0	3	0	0	25	
検 査	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	血 圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体 脂 肪	0	0	0	0	3	0	0	2	2	1	0	0	8
紹 介	保 健 管 理 室	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	メ ン タ ル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学 外 医 療 機 関	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	計	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4

平成20年度 保健管理室分室（鶴舞・大幸地区）・利用件数表（月別、学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	5
	外科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科・口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	6
与薬		0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5
医療機関への紹介		0	0	2	1	0	0	1	2	0	1	0	0	7
診断		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
検査	血液	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	尿	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	血圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体重・体脂肪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	2	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	8
計		1	3	1	2	1	0	1	0	0	1	0	2	12
処置	創傷処置	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	湿布	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	6
窓口相談		2	5	3	4	1	1	3	4	1	2	0	0	26
休養室		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
利用（抗体検査等）		100	0	95	120	0	43	44	1	0	84	0	15	502
大幸地区利用数		0	0	2	3	2	2	1	1	1	1	0	0	13

平成20年度 保健管理室分室（鶴舞地区）利用件数表（月別、職員）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科・口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
与薬		0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	4
医療機関への紹介		1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	2	8
診断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体重・体脂肪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
計		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	
処置	創傷処置	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	5
	湿布	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	1	0	2	1	0	0	0	0	1	2	7
窓口相談		2	2	1	4	1	4	1	0	1	2	3	2	23
休養室		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健室利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	7	0	19
大幸地区利用数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務

学生との面接は、キャンパスの精神健康相談業務としても、また青年期における精神医学あるいは精神健康科学の研究にとっても重要である。

来談者数、延面接回数は表の通りである。実際の需要は少なく見積もってもこの数の2倍はある。大学院生と教職員の相談が最近増加傾向にあることも注目すべきである。都合がつかず他の機関を紹介した例も多数ある。家族や指導教官による学生に関する相談も多くなってきているが、十分な対応は難しい。精神科医3人となった現在、以前より面接回数は増加している。それでも予約の順番が待てないこともあり十分に対応できていない。内科で心身症的に対応されている留学生も多いと考えられる。自覚症状調査において面接を希望した学生を呼出し通知を出したが、待ち切れずに他の医療機関や相談機関を訪れている者が相当数あると推定される。

平成20年度 新患内訳

	統合失調症	妄想性障害	急性精神病	双極性感情障害	抑うつ状態	その他の気分障害	対人恐怖症	その他の恐怖症	不安神経症	強迫神経症	適応障害	解離障害	心気症	離人神経症	摂食障害	睡眠障害	人格障害	アパシー症候群	その他	計
1年		1			3		3		3		1		1	1		1	1		3	18
2年	1				2				1		1			1			1	2		9
3年					1					1	4	1	1		1	1		2		12
4年	1		1		5				1		3						1	2	4	18
大学院	3			2	14		2	3	7	2	17		2	1		1	5	6	11	76
その他				1	21			1		1	8	1	2	1	2			1	8	47
総計	5 (5)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	46 (25)	0	5 (5)	4 (3)	12 (12)	4 (3)	34 (26)	2 (1)	6 (4)	4 (3)	3 (1)	3 (4)	8 (8)	13 (12)	26 (18)	180 (134)

※「その他」は職員、学年が不明な者を含む

※「大学院」は大学院留学生・M・D・OD・PDを含む

※「計」の中で職員を含む項目においては（）内に学生のみ的人数を示してある。

平成20年度 受診者総数（学部別）

文	教育	法	経済	情文	理	医	工	農	独立	その他	計
20	7	28	8	6	38	18	46	18	33	78	300

※「その他」は職員を含む。

平成20年度 月別受診者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
100	116	117	107	98	103	119	121	127	120	123	114	1,365

平成20年度 月別面接回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
173	198	229	215	136	200	220	209	210	203	215	210	2,418

6. 運動実施のためのメディカルチェック

激しい運動を行う時に、身体的要因から生ずる事故をできるだけ少なくする目的でメディカルチェックを行っている。主に、長距離走を対象としているが、各クラブで試合出場に必要な場合などにも応じている。メディカルチェックの内容としては、問診、安静時の血圧、脈拍の測定、および負荷心電図検査である。また、必要に応じ、尿の検査や血液検査も行っている。このほかに、胸部X線検査なども必要と考えられるが、全ての検査を施行できるほどの人的余裕がないので、定期健康診断の成績を判定の参考としている。従って、定期健康診断未受診者についてはメディカルチェックは行っていない。

7. 感染症検査

本年度より医学部1年生を対象に感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）の抗体価検査を実施し、抗体を有しない者に対しては、医学部附属病院小児科の医師が予防接種を行なっている。

医学部4年生を対象として、B型肝炎ワクチンの接種及び接種前後に抗原・抗体・肝機能検査を実施し、その判定を行っている。

8. 平成20年度産業医名簿

H20. 4. 1

事業場	産 業 医
東 山 地 区	総合保健体育科学センター
	教 授 近 藤 孝 晴
	教 授 押 田 芳 治
	教 授 小 川 豊 昭
	准教授 石 黒 洋
	准教授 小 池 晃 彦
	助 手 山 本 明 子
鶴 舞 地 区	情報連携基盤センター
	教 授 宮 尾 克
鶴 舞 地 区 医 学 部	医学系研究科 准教授 市 原 学
鶴 舞 地 区 病 院	医学系研究科 講 師 湯 澤 由紀夫
大 幸 地 区	保健学科 教 授 平 井 眞 理

保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行

教職員・学生の健康やスポーツ活動に対する理解と関心を高め、運動施設の利用の促進や便宜をはかる目的で年間3回発行されている。平成20年度は、98号、99号、100号を発行した。主な記事の表題、担当執筆者は以下の通りである。

	発行日	主な記事	執筆者
98	2008. 10. 1	1枚の絵葉書から 北京オリンピックを観て思う オリンピックとパラリンピックを隔てるもの 胃の病気とヘリコバクターピロリ菌	近藤孝晴 竹之内隆志 布目寛幸 山本明子
99	2008. 12. 25	謎のダイエットとケガ スポーツの後の気分は？－フットサル授業における気分の変化 生活習慣病予防改善のための低酸素トレーニング 17世紀のある科学者について	石田浩司 西田保 片山敬称 古橋忠晃
100	2009. 3. 31	体力的余裕 ボディデザイン 「一歩前へ」－感染症の話 アキレス腱と免疫と心的外傷	島岡みどり 島岡清彦 小池晃彦 津田均

2. 総合保健体育科学センター主管の行事

平成20年度 スポーツ公開講座および施設開放実施状況

学内向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
室内プール夜間開放	学生 院生 教職員	—	—	池 上 康 男	55回	H20. 4. 3～ 7.17 H20.10. 2～H21. 1.26 H21. 3. 2～ 3.30 (月・木曜日の16:30 ～19:00。ただし、祝 日、冬期休業期間を除 く)	屋内プール
夏期休業中室内プ ール開放	学生 院生 教職員	—	—	池 上 康 男	22回	H20. 8. 6～ 8.30	屋内プール
テニスコート夜間開 放	学生 院生 教職員	—	—	佐々木 康	93回	H20. 4. 7～12.22 H21. 1.12～ 1.27 (月・木曜日祝日を除 夏・冬期休業・試験期 間中を除く)	テニスコート

学外（市民）向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
健康開発のための運 動基礎理論	健康増進 指導従事者	25人	41人	島 岡 清	2日間 (計6コマ)	H20.11. 8～11. 9	医学部 保健学科

「健康・スポーツ科学」の授業

「健康・スポーツ科学」の授業について

1. ねらいと授業科目

名古屋大学はその学術憲章のなかで、国内外に関わらず人的交流を支える文化理解、人間性の尊重を共有する構成員の育成をねらいとすることを謳っている。卒業後の社会で自ら行動力を以ってリーダーシップを発揮することが求められる名古屋大学の学生にとって、その基盤となる体力と良好な健康状態を生涯にわたり維持することは極めて重要である。

このような状況を鑑み、旧来の基本主題科目「生涯健康とスポーツ」は、平成15年度より全学基礎科目「健康・スポーツ科学」へと名称及び内容が改められ、以下の知識・能力を身につけた人材の育成をねらいとしている。

- 1) 健康・体力の維持増進に必要な正しい知識
- 2) 運動・スポーツの健康・体力の維持増進に対する有効性の理解と、その生涯にわたる実践能力
- 3) 運動・スポーツの実践によって生活を充実させる方法の体得
- 4) 運動・スポーツの実践を通じて、人間関係を構築する基礎となるコミュニケーション・スキルの体得
- 5) 社会環境の変化やストレスに対して柔軟かつ主体的に行動できる能力

2. 授業形態

「健康・スポーツ科学」は主に健康や運動に関する知識の修得を目的とする「講義」と実践に関する知識や行動能力を身につけるための「実習」で構成される。「講義」と「実習」は互いに独立したものではなく、上記の教育目標を達成するために互いに密接な関係を持つ授業内容となっており、理論と実践の有機的な結合が図られている。

[授業内容]

- 1) 健康と運動・スポーツに関する最先端の科学的知識の修得（講義）
- 2) 生涯にわたる運動習慣を身につけさせるための基礎的能力である体力、運動能力、スキルなどの育成（実習）
- 3) スポーツにおいて自らが主体的、積極的に身体運動に取り組むことによって、科学的知識と論理的思考に基づいた知的な身体運動能力や実践的問題解決行動能力の育成（講義・実習）
- 4) スポーツを通して、チーム・組織における人間関係づくりの基礎を修得（講義・実習）

平成15年度よりこれまでの基本主題科目「生涯健康とスポーツ」における「講義及び実習」と「実技」が全学基礎科目「健康・スポーツ科学」における「講義」と「実習」に改められ、講義は2単位、実習は1単位となった。取得すべき単位については、法学部と工学部を除く全ての学部で講義2単位、実習2単位の計4単位が必修である。法学部は選択制で卒業単位となり、工学部は「講義」または「実習」のいずれかで計2単位が必修である。

3. 「講義」について

1) 時間割編成

平成16年度より各学部ともⅠ期に開講している。学生の授業科目の選択は学生が事前登録を行い、それをもとに電算機上で振り分けた。

2) 開講コマ数

平成20年度の「健康・スポーツ科学」の講義は、19名の専任教員が担当し、1年間に22コマ開講した。

3) ティーチング・アシスタントについて

平成20年度は、ティーチング・アシスタントをつけなかった。

4. 「実習」について

1) 時間割編成

平成20年度は、表1と表2のように各学部ともⅠ期とⅡ期に実習が開講された。開講オビ数は前期9、後期9となり、コマ数は前期59、後期61(集中開講のスキー4コマを含む)となった。工学部は選択必修制(「講義」または「実習」のいずれかで計2単位が必修)であったが、ガイダンスの際に調べた受講率(受講者数と学生数の割合)によると、前期は83%、後期は70%であり少なくとも前期の実習では8割以上の学生が実習を受講していたことが確認できた。

7月後半まで実習が行われ、特に屋外種目においては過酷な暑熱下での実習が行われた。熱中症対策用の測定器や実習を担当する教員の配慮等により、重篤な事態は発生しなかった。また、実習中の怪我についても、特に重傷などの報告はなかった。

前期の開講時間帯は2～4限、後期は1～4限であるが、施設のほとんどが課外活動でも積極的に利用された。

2) 開講コマ数

平成20年度は専任教員(11名)、非常勤講師(12名)が担当し、1年間に120コマを開講した。また、ボランティア授業としてトレッキング1コマ、スキー1コマを開講し、総開講数は122コマである。

3) 開講科目

健康・スポーツ科学実習は、テニス、サッカー、フットサル、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ゴルフ、ラケットスポーツ、スキー、トレッキング、フィットネス、スイミング、太極拳、エアロビクス、アルティメットの17種目を開講した。以上に加えてアダプテッド・スポーツが開講され、合計18種目が開講された。

各種目の授業内容はシラバスに詳しく述べられているが、ここでは本学の特色である集中講義による学外の授業科目(スキー・トレッキング)、さらに健康運動のための授業科目(フィットネス・エアロビクス等)、アダプテッド・スポーツの授業内容についてふれる。

・ 学外で実施する授業科目

スキーやトレッキングなどの野外スポーツは、生涯にわたるスポーツ活動をする上で、近年大きな比重を占めるようになってきている。本学では、スキーの体験や基礎技術の修得、さらに里山を歩くトレッキングを通じて生涯スポーツへの理解と実践力を高め、自らの健康・体力づくりへの動機を促している。スキーとトレッキングともに受講生には人気があった。

・ 健康運動のための授業科目

実習は、受講者の体力レベルに応じた、効果的なプログラムを実施、さらに受講者自らがプログラム

を組み立てる能力を養成することが目的である。「フィットネス」、「スイミング」、「太極拳」、「エアロビクス」が開講されている。「スイミング」は、学内温水プールを利用するため年間を通じて開講されている。

・ アダプテッド・スポーツ

本学では毎年全学生の1%程度の学生が外傷や疾病により通常の実習の履修が困難となっている。そこでこれらの学生を対象に「アダプテッド・スポーツ」を開講し、保健科学部教員（医師）と体育科学部教員が協力し、面接による医学的指導をもとに個々の症状に応じたトレーニングや軽いスポーツを設定し、積極的で充実した学生生活を送るためのバックアップを行っている。

4) ティーチング・アシスタントの活用

平成20年度は、前期4コマ、後期2コマに1名ずつ、さらにスキーに5名、トレッキングに1名のティーチング・アシスタントを採用した。これらのティーチング・アシスタントは、授業の準備にとどまらず、実際の指導において有意な教育効果をもたらした。授業内容によっては、今後さらに多くのティーチング・アシスタントを活用する方向で検討すべきである。

5. 「実習」の非常勤講師（五十音順）

- 内 田 博 昭（株式会社ファミリ）
- 桶 野 典 子（同朋大学非常勤講師）
- 柴 田 優 子（愛知大学非常勤講師）
- 下 村 典 子（中京短期大学）
- 張 成 忠（有限会社桜華）
- 湯 海 鵬（愛知県立大学）
- 富 樫 健 二（三重大学）
- 野 中 壽 子（名古屋市立大学）
- 平 川 武 仁（南山大学）
- 平 野 朋 枝（岐阜聖徳学園大学）
- 吉 澤 洋 二（名古屋経済大学）
- 吉 田 和 人（静岡大学）

平成20年度 健康・スポーツ科学実習時間割 (前期)

曜日	月	火	水	木	金
ガイダンス					
雨当番					
1限					講義8 理医保農情(自)
8:45 10:15					押田 芳治 西田 保 津田 均 石田 浩司 小池 晃彦 竹之内隆志 石黒 洋 秋間 広
2限	実習7 医農	実習6 経000	実習8 文教情	池上	実習6 保
10:30 12:00	山本 裕二 石田 浩司 布目 寛幸 片山 敬章 ・下村 典子 ・吉田 和人 西田 保/石黒 洋	島岡みどり 山本 裕二 佐々木 康 片山 敬章 ・湯 海鵬 島岡 清/石黒 洋	池上 康男 西田 保 竹之内隆志 布目 寛幸 片山 敬章 ・楠野 留美 ・平川 武仁 石田浩司/押田芳治	ゴルフ フットサル テニス スイミング アルティメット エアロビクス バレーボール アダブテッド	竹之内隆志 秋間 広 ・吉澤 洋二 ・野中 壽子 ・富樫 健二 島岡みどり/小池晃彦
3限	講義8 工学部	講義6 文教経法情(社)	実習8 工I-IV	山本	実習5 法
13:00 14:30	近藤 孝晴 小池 晃彦 石黒 洋	近藤 孝晴 小川 豊昭	池上 康男 西田 保 山本 裕二 布目 寛幸 竹之内隆志 片山 敬章 ・楠野 留美 佐々木 康/小池晃彦	スミシング ゴルフ テニス フットサル バレーボール アルティメット フィットネス アダブテッド	石田 浩司 ・吉澤 洋二 ・野中 壽子 ・富樫 健二 竹之内隆志/押田芳治
4限	実習6 工III-V		実習5 工II	秋間	
14:45 16:15	島岡 清 島岡みどり 石田 浩司 佐々木 康 布目 寛幸 秋間 広/近藤孝晴	島岡 清 池上 康男 佐々木 康 山本 裕二 布目 寛幸	秋間 広 ・柴田 優子 ・平野 朋枝 ・内田 博昭 池上康男/山本明子	サッカー テニス バドミントン バレーボール アダブテッド	

平成20年度 健康・スポーツ科学実習時間割 (後期)

曜日	月	火	水	木	集中
ガイダンス					島岡 清 スキー
雨当番					池上 康男 スキー
1限	実習6 経	池上 康男 山本 裕二 佐々木 康 竹之内隆志 片山 敬章 島岡 清/石黒 洋	片山 スイミング ラケット フィットネス バレーボール アルティメット アダプテッド		秋間 広 スキー 布目 寛幸 スキー 片山 敬章 スキー 小池 晃彦 スキー
8:45 10:15					
2限	実習7 医療	石田 浩司 布目 寛幸 ・張 成忠 ・柴田 優子 ・富樫 健二 ・吉田 和人 秋間 広/小池晃彦	石田 フィットネス フットサル 太極拳 テニス バドミントン 卓球 アダプテッド	実習7 文教情	選抜授業
10:30 12:00					
3限	実習8 理	秋間 広 佐々木 康 秋間 広 ・張 成忠 ・柴田 優子 ・富樫 健二 ・吉田 和人 ・内田 博昭 片山敬章/小川豊昭	秋間 スイミング フィットネス 太極拳 テニス バドミントン 卓球 バレーボール アダプテッド	実習6 工III-V 島岡みどり 西田 保 竹之内隆志 ・吉澤洋二 島岡みどり/小川豊昭	島岡清 ゴルフ 野球場 プール 第一 新アリ 第二 卓球 アダプテッド
13:00 14:30					
4限	実習7 工I-IV	島岡みどり 石田 浩司 佐々木 康 秋間 広 ・柴田 優子 ・内田 博昭 布目寛幸/近藤孝晴	佐々木 太極拳 ソフトボール バスケケット サッカー テニス バレーボール アダプテッド	実習6 工III-V 島岡みどり 西田 保 竹之内隆志 ・楠野 留美 山本裕二/近藤孝晴	島岡清 バレーボール 第一 新アリ 第二 卓球 アダプテッド
14:45 16:15					

そ の 他

庶務関係事項

1) 人事異動 (平成 20. 4. 1～21. 3. 31)

異動年月日	異動前の役職	氏名	異動内容	備考
H20. 4. 1		井道 哲志	配置換 (核融合科学研究所管理部研究推進課 大学院連携係長から)	事務掛
H20. 4. 1		眞鍋 健	配置換 (図書館管理部会計掛から)	事務掛
H20. 4. 1	臨時用務員	松島 茂	配置換 (人事労務課福祉掛から)	事務掛
H20. 4. 1		竹中 美樹	採用 (非常勤保健師)	保健管理室
H20. 7. 31	非常勤看護師	馬淵 満奈子	退職	保健管理室
H20. 8. 18		中原 久美子	採用 (非常勤看護師)	保健管理室 分室
H20. 10. 1	事務職員	眞鍋 健	配置換 (環境学研究科用度掛へ)	事務掛
H20. 10. 1	主任	川上 章子	配置換 (文系経理課経理グループから)	事務掛
H21. 3. 31	講師	高橋 義雄	退職	体育科学部
H21. 3. 31	看護師	伊藤 幾子	定年退職	保健管理室
H21. 3. 31	事務室長	高橋 神奈男	退職	事務室
H21. 3. 31	非常勤看護師	西口 圭子	退職	保健管理室 分室
H21. 3. 31	非常勤 臨床検査技師	酒井 恵理子	退職	保健管理室

平成20年4月1日現在

平成20年度各種委員会委員名簿（学内）

委員会名等	任期	保健科学部	体育科学部	備考
総合保健体育科学センター運営委員会	H19.4.1～H21.3.31	小川・押田	石田・山本	
図書館商議委員会	H19.4.1～H21.3.31		西田	
原子力委員会	H19.4.1～H21.3.31	押田		
安全保障委員会	H19.4.1～H21.3.31	石黒		
動物実験委員会	H19.4.1～H21.3.31	小池		
全学計画・評価担当者会議	H19.4.1～H21.3.31	押田		
研究助成委員会	H20.4.1～H22.3.31	小川		教授
国際交流委員会	H20.4.1～H22.3.31	石黒		
国際関係施設委員会	H20.4.1～H22.3.31	小池		
全学教育企画委員会	H20.4.1～H22.3.31		石田	教授
学務情報システム委員会	H20.4.1～H22.3.31		片山	教・助教
セクシュアル・ハラスメント防止対策委員会	H20.4.1～ H22.3.31	セクシュアル・ハラスメント相談所長(近藤) 保健管理室長(押田)		
情報公開・個人情報保護審査委員会	H20.4.1～H22.3.31		池上	
男女共同参画推進専門委員会	H20.4.1～H22.3.31	山本		
高等研究院会議	H20.4.1～H22.3.31		布目	
利益相反マネジメント専門委員会	H20.4.1～H22.3.31		佐々木	
情報メディア教育センター運営委員会	H20.4.1～H22.3.31		島岡清	教授
蔵書整備アドバイザー	H19.4.1～H22.3.31	石黒	竹之内・秋間	3年
発達心理精神科学教育研究センター運営委員会	H19.4.1～H21.3.31	小川		
全学教育棟等の改修工事に関する検討委員会	H20.4.1～H22.3.31		池上	2年
バイオセーフティ委員会	H16.4.1～	近藤		
大学文書資料室運営委員会	H19.4.1～H21.3.31	小川		講師以上
環境安全衛生管理室運営委員会	H20.4.1～H22.3.31	石黒		
自然災害対策検討WG	H20.4.1～H22.3.31		島岡み	
教養教育院統括会議	H20.4.1～H23.3.31		石田	
教養教育院教務委員会	H20.4.1～H23.3.31		石田	
教養教育院健康・スポーツ科学小部会	H20.4.1～H23.3.31	石黒	石田・島岡み 秋間・片山	
教養教育院評価専門委員会	H20.4.1～H23.3.31		石田	
教養教育院統括部基盤科学部門及び基盤科学部会	H20.4.1～H23.3.31		石田	
セクシュアル・ハラスメントの苦情に関する「部局受付窓口担当員」	H19.4.1～H21.3.31	(市橋淳)		
SCS事業実施要項による共通教育棟子局運営委員会	H20.4.1～H22.3.31		島岡清	
社会連携推進担当	H20.4.1～H22.3.31		竹之内	
交通安全委員会代議員	H20.4.1～H22.3.31		石田	
個人情報保護管理者	H20.4.1～H21.3.31	押田		

職指定委員会（センター長）

1. 教育研究評議会
2. 部局長会
3. 男女共同参画推進委員会
4. 組換えDNA実験安全委員会
5. 病院・医系委員会・第6委員会
6. 医系小委員会
7. 研究・国際交流委員会 第7委員会

指定以外

1. ホームカミングデイ部局代表者 島岡 清

職指定委員会（保健管理室長）

1. 施設・安全委員会（第5委員会）
2. 環境安全防災委員会
3. 環境安全衛生推進本部会議・環境安全衛生推進本部打合せ会
4. 安全衛生委員会

セクシュアル・ハラスメント相談所運営委員会

1. セクシュアル・ハラスメント相談所長（近藤）
2. 保健管理室長（押田）

学生相談総合センター企画運営委員会（小川）H19. 4. 1～H21. 3. 31

保健科学部

排水管理責任者	H20. 4. 1～H21. 3. 31	押田
メンタルヘルス研究協議会	H20. 4. 1～H21. 3. 31	津田
親と子供の診療部運営協議会	H16. 4. 1～	小川
医学系研究科国際交流委員会	H16. 4. 1～	小川

平成20年4月1日現在

平成20年度各種委員会委員名簿（センター内）

委員会名等	保健科学部	体育科学部	備考
科学部主任	押田	山本	
教務委員会	小川, 石黒	◎石田, 島岡み, 秋間, 片山	
予算委員会	◎押田, 小川	島岡清, 山本	
編集委員会	石黒, 山本	◎西田, 佐々木	
広報委員会	小池, 山本	◎池上, 布目	
図書委員会	押田, 石黒	◎西田, 佐々木	
特昇委員会	小川, 小池	◎島岡清, 佐々木	
評価・企画委員会	◎小川, 押田, 石黒	山本, 石田, 竹之内	
NICE部局運営委員会	小池	◎山本, 池上	
ヒトを対象とする研究審査委員会	石黒, 小池	◎西田, 秋間, 布目	
交通対策委員会	山本	◎石田	
保健管理室スタッフ委員会	◎押田, 山本, 古橋		
運動施設委員会		◎池上, 山本, 佐々木, 布目	
環境管理担当教員	押田		H19年7月選任
男女共同参画推進検討委員会	山本(宮田)	島岡み	
安全衛生委員会		◎秋間	掛長・伊藤

保健管理室長	押田 (H19. 4. 1~H21. 3. 31)	
--------	---------------------------	--

国立大学保健管理施設等協議会	押田		
大学体育連合		山本	
教育発達科学研究科担当委員 (☆入試委員)		◎☆西田, 佐々木 ☆秋間	

◎は、委員長を示す。

保健科学部

メンタルヘルス研究協議会	H20. 4. 1~H21. 3. 31	津田
親と子供の診療部運営協議会	H19. 4. 1~H21. 3. 31	小川
医学系研究科国際交流委員会	H16. 4. 1~	小川
医学系研究科教育委員会		小川
医学系研究科修士運営委員会		押田

2) 外国出張及び海外研修旅行 (平成20. 4. 1～21. 3. 31)

官 職	氏 名	渡 航 目 的	渡 航 先 及 び 期 間	備 考
准 教 授	布目 寛幸	国際学会 (1st Congress on Science & Soccer) において演題発表及び2011年名古屋大学開催の打合せのため	Liverpool John Moores University, Liverpool, (連合王国) H20. 5. 10～H20. 5. 18	教育研究支援経費
准 教 授	秋間 広	第55回アメリカスポーツ医学会での研究発表及び研究打合せのため	クリーブランドクリニック、インディアナポリスコンベンションセンター、ノースカロライナ大学 (アメリカ合衆国) H20. 5. 24～H20. 6. 5	科学研究費補助金
教 授	石田 浩司	第13回ヨーロッパ・スポーツ科学学会出席及びオックスフォード大学での研究打合せのため	The Estoril Congress Center (ポルトガル) オックスフォード大学 (連合王国) H20. 7. 5～H20. 7. 13	私費
准 教 授	片山 敬章	第13回ヨーロッパ・スポーツ科学学会出席 (参加・研究成果発表) 及びチューリッヒ大学での研究打合せのため	The Estoril Congress Center (ポルトガル) チューリッヒ大学 (スイス連邦) H20. 7. 4～H20. 7. 13	科学研究費補助金
准 教 授	布目 寛幸	国際学会 (XXVIth International Conference on Biomechanics in Sports) において演題発表を行うため	Seoul National University (大韓民国) H20. 7. 14～H20. 7. 19	寄附金
教 授	西田 保	体育学習を通した生きる力の育成に関する研究打合せおよび資料収集	University of Thessaly (Trikala, Greece)	科学研究費補助金
准 教 授	片山 敬章	第16回国際低酸素学会への参加および研究成果発表。	レークルイス (カナダ) H21. 3. 10～H21. 3. 16	寄附金
助 教	山本 明子	United European Gastroenterology Week (UEGW) での参加およびマンチェスター大学との共同研究打合せのため	Austria Center Vienna (オーストリア国)、Manchester University (連合王国) H20. 10. 16～H20. 10. 24	寄附金
准 教 授	秋間 広	身体不活動にともなう筋機能と脳機能変化に関する研究	Cleveland Clinic, Lerner Research Institute, Department of Biomedical Engineering, Neural Control Laboratory アメリカ合衆国 H21. 3. 27～H22. 3. 26	特別海外渡航
教 授	西田 保	体育学習を通した生きる力の育成に関する研究打合せおよび資料収集	University of Thessaly (Trikala, Greece)	科学研究費補助金
准 教 授	片山 敬章	第16回国際低酸素学会への参加および研究成果発表。	レークルイス (カナダ) H21. 3. 10～H21. 3. 16	寄附金
准 教 授	佐々木 康	資料収集および研究打合せ	英国ラフバラ大学、スコットランドラグビーミュージアム、イングランドラグビー協会資料館 (連合王国) H21. 3. 9～H21. 3. 15	運営費交付金

あ と が き

総合保健体育科学センターの2008年度の保健管理業務、センター事業、「健康・スポーツ科学」の授業についてまとめた、総合保健体育科学センター年報第31号をお届けします。

平成21年度末（平成22年3月31日）をもって、現センター長の近藤孝晴教授、前センター長の島岡清教授が停年を迎えられます。永年に渡り本センターを支えてこられた両先生に感謝いたすとともに、両先生の退官後も、センターの活動を維持し、さらに発展させられるよう努力すべく、スタッフ一同決意を新たにしております。

平成21年度は、4月末に明らかになったブタ由来の新型インフルエンザの流行に世界中が混乱し、保健管理業務も翻弄された一年でした。学生については、新型インフルエンザのみならず、近年の麻疹、百日咳の学生間での集団感染、先進国では数少ないエイズの増加、子宮頸癌予防のためのパピローマウイルスに対するワクチンの導入など、感染症に関する問題が多数あります。職員については、特定健診の開始とその指導が昨年度から開始されており、2名の保健師が保健管理室に加わり、中心となって業務を行っております。健診後の指導に関しては、島岡清教授が中心になって、運動、栄養を指導するボディデザイン教室を行いました。この他にも、留学生に対する健康相談の業務が増加し、グローバル30が開始されると、その必要性がますます高まると考えられます。さらに、メンタルヘルスの必要性により職員への相談窓口を設け、臨床心理士も加わり活動を開始しておりますが、予想をはるかに上回る相談が寄せられておりその対応に追われています。

教育面においては、全学教育の「健康・スポーツ科学」における講義カリキュラムの変革をしつつあります。本年度は、豊田講堂にて、「感染症」「ハラスメント」「メンタルヘルス」「薬物中毒」に関する共通講義を行いました。来年度からは共通講義は行いませんが、学生の自立や健康的な生活の実践をサポートしていくために、講師の専門性を生かしつつも、教養科目として体系的なカリキュラムの作成を進めています。また、センターに所属する医学系研究科と教育発達科学研究科の大学院生が、留学生を含め増加しており、研究機関としての機能も高めていくよう努力をしていく所存です。

生活習慣病が急増している中、健康に関する関心が高まっており、総合保健体育科学センターの健康スポーツに対する「教育」「研究」の必要性は、高まる一方であります。また、前述したように、感染症・生活習慣病対策、メンタルヘルスケア、増加する留学生の健康相談業務等、保健管理業務も増加する一方です。このような状況にもかかわらず、教員数は減少しつつありますが、業務の遂行を円滑に行い、センターの活動を向上すべく努力をして参ります。また、スポーツ教室、公開講座などを通して、社会貢献も行う所存ですので、ご支援をよろしく申し上げます。

ホームページ (<http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/>) も新しくなりました。研究活動については、紀要「総合保健体育科学」をご覧ください。

(小池晃彦)

平成22年3月25日

編集兼発行

名古屋大学
総合保健体育科学センター

名古屋市千種区不老町

電話 789-3946 (ダイヤルイン)

印刷所

品川プロセス印刷株式会社

名古屋市東区東片端町52番地

電話 931-6741

THE ANNUAL REPORT
OF
THE RESEARCH CENTER OF HEALTH,
PHYSICAL FITNESS AND SPORTS
NAGOYA UNIVERSITY

2008
(Volume 31)